

令和 5 年版

消 防 年 報

熊 本 県
天草広域連合消防本部

この消防年報は、天草広域連合消防本部の現勢と令和5年中の消防に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものです。

なお、統計については原則として暦年、予算関係については会計年度とし、表中に年月を明示したものについては、その時点での現況としています。

令和6年7月

天草広域連合消防本部

令和５年度中の主な行事

月	行事内容	
4	○人事異動 ○初任科第68期入校 ○救助技術署内大会 ○全国消防長会九州支部総会（八代市）	○熊本県消防長会春季総会（阿蘇市） ○第46回熊本県消防職員意見発表会（阿蘇市） ○天草地区危険物安全協会役員会
5	○第1回天草消防連絡協議会会議 ○天草地域幼少年女性防火委員会会議（書面会議） ○天草地区危険物安全協会役員会及び総会 ○天草広域連合議会臨時会	○第49回熊本県消防救助技術大会（有明消防本部） ○指導救命士養成研修（北九州市） ○第75回全国消防長会総会（京都市） ○全国消防長会予防委員会（函館市）
6	○熊本県救急教育セミナー（天草～Web開催） ○天草広域連合議会臨時会	○危険物安全週間 ○天草市一斉避難訓練
7	○署内監査・書類監査 ○第51回九州地区消防救助技術指導会（宮崎市） ○天草消防連絡協議会視察研修（中止）	○第1回甲種防火管理新規講習 ○危険物取扱者保安講習
8	○消防職員委員会 ○天草広域連合議会定例会	○第51回全国消防救助技術大会（札幌市）
9	○定期監査 ○昇任試験（筆記試験） ○消防職員採用１次試験 ○救急救命九州研修所第42期（北九州市）	○防災の日 ○救急の日 ○第7回熊本県女性消防操法大会（山鹿市）
10	○人事異動 ○昇任試験（術科試験） ○消防職員採用２次試験 ○天草広域連合議会臨時会	○上天草市総合防災訓練（龍ヶ岳町） ○熊本県消防長会秋季総会（人吉市） ○九州地区消防音楽隊演奏技術研修会（北九州市）
11	○昇任試験（口術試験） ○第2回甲種防火管理新規講習 ○甲種防火管理再講習 ○第37回天草広域連合消防職員意見発表会 ○第2回天草消防連絡協議会会議	○秋の全国火災予防運動 ○苓北町防災訓練 ○緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（福岡県） ○天草広域連合議会定例会
12	○年末警戒巡察	○危険物取扱者保安講習
1	○各市町消防出初式 ○定例表彰	○防災とボランティアの日 ○文化財防火デー
2	○第3回甲種防火管理新規講習 ○天草広域連合議会定例会	
3	○春の全国火災予防運動 ○天草広域連合議会臨時会	○熊本県メディカルコントロール協議会（Web開催） ○天草地域メディカルコントロール協議会（Web開催）

目 次

総 務

1	天草広域連合の地勢	1
2	人口・世帯数及び面積	1
3	沿革	2
4	天草広域連合の組織図	1 5
5	天草広域連合特別職及び役職名	1 6
6	消防本部・消防署事務分掌	1 7
7	消防本部・消防署人員配置表	1 9
8	天草広域連合一般会計予算（当初）	2 0
9	消防予算（当初）	2 1
1 0	基準財政需要額及び常備消防費負担金（当初）	2 1

消防施設と現有勢力

1	天草広域連合消防本部・署・分署配置図	2 5
2	消防庁舎の状況	2 6
3	市町別消防水利状況	2 6
4	現有消防力の状況	2 7
5	消防団の現勢	2 8
6	勤続年数別職員数	2 9
7	年齢別職員数	3 0
8	職員の特殊技能	3 1
9	消防音楽隊	3 2
1 0	演奏活動出場状況	3 3
1 1	月別演奏活動状況	3 3
1 2	職員研修等実施状況	3 4
1 3	消防相互応援協定の状況	3 5
1 4	消防救助技術大会出場結果	3 6

消防通信

1	月別 1 1 9 番着信状況	3 9
2	市町別災害出動覚知方法	3 9
3	聴覚言語障害者へ対するシステム	4 0
4	外国人へ対するシステム	4 1

予防行政

1	防火対象物の現況	4 5
2	消防法及び火災予防条例等に基づく諸届出受理件数	4 6
3	甲種防火管理新規講習実施状況	4 7
4	甲種防火管理再講習実施状況	4 7
5	火薬類消費許可申請及び許可状況	4 7
6	中高層建築物現況数	4 8
7	防火対象物定期点検報告等の状況	4 9
8	月別・市町別建築同意事務処理状況	5 0
9	危険物製造所等の現況	5 1
1 0	危険物規制事務取扱状況	5 1
1 1	幼少年女性防火クラブの結成状況	5 2
1 2	自主防災組織結成状況（民間自主防災）	5 3

火災統計

1	火災概要	5 7
2	火災種別出火件数の構成比率	5 7
3	1 日当たり及び 1 件当たりの火災状況	5 8
4	火災発生件数の推移	5 8
5	火災損害額の推移	5 9
6	令和 5 年中の主な火災	5 9
7	月別火災発生状況	6 0
8	市町別火災発生状況	6 2
9	出火原因別火災発生状況	6 4

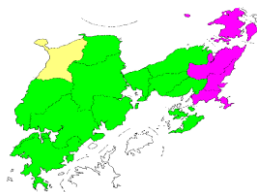
救急業務

1	救急概要	6 7
2	事故種別の順位	6 7
3	救急需要の推移	6 8
4	ヘリコプターによる搬送件数の推移	6 8
5	事故種別・年齢区分別救急搬送状況	6 8
6	時間別救急出場件数及び搬送人員	6 9
7	曜日別月別救急出場件数	7 0
8	現場到着所要時間別出場件数	7 1
9	収容所要時間別搬送人員	7 1
1 0	傷病程度別搬送人員	7 2
1 1	医療機関別搬送人員	7 2
1 2	事故種別・理由別不搬送状況	7 3
1 3	市町別医療機関数	7 3
1 4	救急隊員の行った処置	7 4
1 5	市町別救急発生状況	7 5
1 6	住民に対する応急手当普及啓発指導状況	7 6
1 7	応急手当指導員講習修了者状況	7 6
1 8	救急救命士資格取得状況	7 7
1 9	救急救命士気管挿管・薬剤投与認定取得状況	7 7

救助業務

1	救助業務活動状況の推移	8 1
2	事故種別出場状況等	8 2

一目統計



気 象

年平均気温 17.4 度
年平均湿度 89.3%

管轄面積

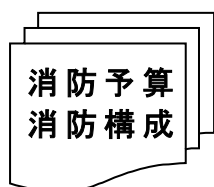
2 市 1 町
878.38k m²

人 口

102,834 人

世帯数

50,067 世帯



消防費総額

21 億 3,771 万円

署 ・ 所

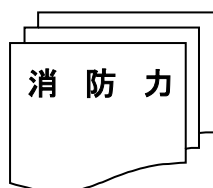
消防本部 1
消 防 署 3
分 署 10

職員数

定員 218 人
実員 212 人
平均年齢
36.4 歳

団員数

定数 4,580 人
実員 3,462 人
(うち女性
60 人)



消防車等

小型水槽付ポンプ車 6 台
水槽付ポンプ車 6 台
(非常用 1 台含む)
小型動力ポンプ
付積載車 1 台

特殊車両等

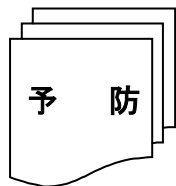
梯子車 2 台
化学車 2 台
救助工作車 2 台
水槽車 1 台
資機材搬送車 2 台
消防救急艇 1 隻
拠点機能形成車 1 台
小型救助車 1 台
人員輸送車 1 台

救急車等

高規格 15 台
(非常用 2 台含む)
救急車 1 台

消防水利

消火栓
1,235 個
防火水槽
1,309 基



防火対象物

対象物数 2,075 件
棟 数 3,102 棟

防火対象物 定期点検報告制度

該当対象物数 93 件
点検報告済 21 件
特例認定済 69 件

危険物施設

製造所 1 件
貯蔵所 239 件
取扱所 197 件

防火クラブ等

幼年消防 32 団体
少年消防 9 団体
女性消防 1 団体
自主防災 390 組織



火 災

火災件数 40 件
死 者 1 人
負 傷 者 6 人
損 害 額
28,904 千円

出火原因

1 位 たき火 17 件
2 位 たばこ 4 件
2 位 放火 4 件

救 急

出場件数 6,600 件
1 日平均 18 件
搬送人員 5,752 人

救 助

出動件数 76 件
活動人員 325 人
救助人員 47 人

総務

1 天草広域連合の地勢

天草は熊本県の南西部に位置し東シナ海や八代海、有明海に囲まれ豊かな自然と南蛮文化、キリシタンの歴史などの観光資源に恵まれた風光明媚なところです。

消防本部は天草市にあり天草下島の東経130度11分20秒、北緯32度28分44秒に位置し南北51キロ、東西48.5キロの中心に位置します。

2 人口・世帯数及び面積

令和6年4月1日現在

市 町 名	総人口	世帯数	面積（k m ² ）
天 草 市	72,516	35,942	683.86
上 天 草 市	23,987	11,096	126.94
天草郡苓北町	6,331	3,029	67.58
合 計	102,834	50,067	878.38

3 沿革

《昭和》

29年	4月	本渡市消防本部が発足する。(職員4人)
	8月	本渡市消防署が発足する。(1本部、1署、車両1台、職員19人)
39年	4月	牛深市消防本部が発足する。(1本部、1署、車両1台、職員18人)
	10月	本渡中央商店街の大火
41年	12月	本渡市消防本部、消防署、庁舎が落成
45年	3月	本渡市消防署瀬戸分駐所が開所する。
46年	4月	本渡地区消防組合(本渡市、有明町、新和町、五和町)が発足する。 (1本部、1署、3分署、1分駐所、車両18台、職員80人) 消防吏員37人採用 新規採用者熊本県消防学校へ入校(30人)
47年	4月	消防吏員8人採用(職員85人) 天草広域消防組合設立準備室が発足する。
48年	1月	天草消防組合規約が議決される。(2市13町)
	2月	化学消防車購入、中央消防署へ配備する。
	4月	本渡市、牛深市、大矢野町、松島町、有明町、姫戸町、龍ヶ岳町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町、河浦町、で天草消防組合が発足する。 (1本部、2署、8分署、車両34台、定員146人) 瀬戸分駐所を分署へ改署 組合管理者に横山寛人氏、消防長に山崎光義氏(初代)が就任 消防吏員25人採用(職員162人) 新規採用者熊本県消防学校へ入校(16人)
	5月	大矢野分署、河浦分署が開署する。
	7月	新規採用者熊本県消防学校へ入校(9人)
	9月	熊本県消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	10月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	11月	東天草分署、松島分署が開署する。 日本赤十字社熊本県支部(天草地区建設業協会補助)から救急自動車の寄贈を受ける。
49年	1月	消防ポンプ自動車購入、松島分署及び河浦分署へ配備する。
	2月	「あましょう」創刊号を発行する。
	4月	西天草分署が開署する。 消防吏員16人採用(職員161人) 日本自動車工業会及び日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。(2台)
	5月	瀬戸分署が閉署する。
	10月	消防艇「ごしょうら」が進水、御所浦分駐所が開所する。 有明分署「菊花鉢」の配布始める。155鉢
	11月	はしご付き消防ポンプ自動車を購入、中央消防署へ配備する。
	12月	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
50年	3月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	消防吏員1人を採用(職員162人)
	8月	消防吏員1人を採用(職員162人) 消防ポンプ自動車購入、大矢野分署及び西天草分署へ配備する。
51年	4月	職員定数186人とする。消防吏員20人採用(職員180人) 新規採用者熊本県消防学校へ入校(20人) 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	9月	消防ポンプ自動車購入、有明分署及び新和分署へ配備する。
	10月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
52年	2月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	3月	全署、分署に救助技術訓練施設が完成
	5月	消防吏員2人採用(職員182人)
	9月	消防大学校予防科第23期入校(1人) 消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備する。
53年	1月	消防大学校警防科第19期入校(1人)
	3月	熊本県町村職員退職手当組合に加入
	4月	消防大学校予防科第24期入校(1人)
	5月	消防大学校救急科12期入校(1人)

54年	10月	消防本部を組織改革する。総務課（4係）警防課（3係）
	12月	南消防署車庫増築工事竣工
	4月	消防吏員6人採用（職員186人）
	9月	日本消防協会から救急自動車の交付を受ける。 消防大学校危険物保安科第4期入校（1人）
55年	10月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。 天草消防組合音楽隊が結成される。
	11月	はしご付き消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備する。
	3月	広域消防発足10周年記念大会を開催する。 消防庁長官功労章を山崎光義消防長が受ける。
	4月	職員定数198人とする。消防吏員9人採用（職員194人）
	5月	第3回全国消防職員意見発表会へ九州地区代表として山下弥平消防士が出場する。
	6月	天草地域少年婦人防火委員会が発足する。
	7月	消防大学校予防科第28期入校（1人）
	8月	消防艇「第2ごしょうら」が進水
	10月	苓北分署開署、北天草分署を「五和分署」と改める。 天草本渡ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。 熊本県消防駅伝大会が大矢野町で開催される。
	12月	救急自動車購入、苓北分署へ配備する。
56年	1月	九州地区消防駅伝大会で初優勝（長崎・諫早市） 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。 消防ポンプ自動車CD-I型購入、五和分署及び苓北分署へ配備する。
	2月	救急自動車購入、大矢野分署へ配備する。
	3月	苓北分署庁舎竣工 救急無線波を導入する。 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	5月	山崎光義消防長退任 消防長に山下金廣氏（第二代）就任
	8月	消防本部、中央消防署増改築工事起工
	10月	熊本県総合防災訓練を牛深市で実施する。
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で優勝（熊本市）
	1月	消防大学校警防科第27期入校（1人）
	2月	消防ポンプ自動車CD-I型購入、南消防署へ配備する。
	3月	救急自動車購入、五和分署へ配備する。 消防本部、中央消防署増改築工事竣工
57年	4月	消防大学校予防科第32期入校（1人）
	10月	日本防火協会から防火広報車の交付を受ける。 南消防署庁舎改修工事竣工 連絡車3台購入、有明分署及び新和分署並びに五和分署へ配備する。
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（福岡市） 有明分署、新和分署、五和分署庁舎塗装工事竣工
	2月	中央消防署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	3月	救急自動車購入、東天草分署へ配備する。
	4月	消防吏員4人採用（職員195人） 消防大学校予防科第34期入校（1人）
	6月	全国消防職員意見発表会で富安國男士長が最優秀賞となる。
	8月	消防大学校警防科第31期入校（1人）
	9月	天草広域消防連絡協議会が結成される。
	12月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（伊万里市）
58年	2月	救急自動車購入、中央消防署へ配備する。
	3月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	組合管理者横山寛人氏退任 組合管理者に本渡市長、久々山義人氏就任
59年		消防大学校救助科第10期入校（1人）
	9月	東天草分署庁舎改修工事竣工
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で優勝（指宿市）
	4月	消防吏員5人採用（職員195人）
	11月	大矢野分署、西天草分署庁舎改装工事竣工
60年		

		九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（福岡市） 消防はしご乗り隊を結成する。
6 1 年	1 2 月	1 1 9 番本部通信指令室集約（有明町、栖本町、新和町、五和町）
	3 月	山下金廣消防長退任
	4 月	消防長に中野孝一氏（第三代）就任 1 1 9 番本部通信指令室集約（御所浦町）
	6 月	消防大学校警防科第 3 9 期入校（1 人）
	1 0 月	中央消防署はしご自動車オーバーホール
6 2 年	1 1 月	消防本部の指令車、松島分署、東天草分署、河浦分署の連絡車を更新する。 九州地区消防職員駅伝大会で優勝（大分市） 第 1 回屋内消火栓操法大会を開催する。
	1 2 月	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新する。
	1 月	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4 月	河浦分署庁舎改装工事竣工 消防大学校予防科第 4 2 期入校（1 人）
	6 月	輸送車購入、消防本部へ配備する。
	8 月	日本消防協会から電源照明車の交付を受ける。
	9 月	天草町もみじ保育園、しらさぎ保育園に幼年消防クラブが結成される。 中央消防署改装工事竣工
	1 1 月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（西都市）
	1 2 月	南消防署の水槽付消防ポンプ自動車、南消防署と大矢野分署の救急自動車 2 台を更新する。
	1 月	指令車購入、消防本部へ配備する。
6 3 年	3 月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。 新和町大多尾少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。
	4 月	消防吏員 7 人採用（女性消防士 2 人採用、職員 1 9 7 人） 消防大学校救助科第 1 8 期入校（1 人）
	5 月	指令車購入、南消防署へ配備する。 有明分署庁舎改装工事竣工
		松島町愛光園に幼年消防クラブが結成される。
	9 月	龍ヶ岳無線固定局増設及び中継局舎改築工事竣工
	1 0 月	自治体消防制度 4 0 周年・天草消防組合発足 1 5 周年記念「消防フェスティバル天草」を開催する。
	1 2 月	有明分署の消防ポンプ自動車 C D - I 型に更新する。
6 4 年	1 月	天草消防組合特別救助隊が発足する。（1 日）
《平成》		
元年	1 月	元号が平成となる。（8 日）
	2 月	「記者と消防の集い」を開催する。
	3 月	第 1 回自転車ロード耐久訓練実施（天草下島一周 1 4 0 キロ） 救助工作車（Ⅱ型）購入、中央消防署へ配備する。
	4 月	熊本県消防学校研修教官派遣（～9 月・1 人）
	6 月	消防大学校警防科第 4 5 期入校（1 人）
	1 0 月	熊本県消防学校研修教官派遣（～3 月・1 人）
	1 1 月	くまもと“8 9 ふるさと消防フェア”（アスペクタ）にはしご乗り隊が出演する。
	1 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。
	2 月	天草消防組合音楽隊 1 0 周年記念演奏会を開催する。
	3 月	姫戸町牟田少年消防クラブが全国運営指導協議会長から優良なクラブの表彰を受ける。
2 年	4 月	消防本部の組織を改革する。（企画情報室を新設、警防課を防災課へ名称変更） 熊本県消防学校研修教官派遣（～9 月・1 人） 消防吏員 4 人採用（職員 1 9 6 人）
	7 月	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
	8 月	本渡市に星光園婦人防火クラブが結成される。 日本消防協会から救急自動車の交付を受ける。
		松島分署庁舎改装工事竣工 潜水救助隊が発足する。
	1 0 月	消防署の組織を見直しする。救急救助係が設けられ、係長、主任制度が導入される。 御所浦分駐所を御所浦分署へ名称変更

3 年	1 1 月	苓北町に幼年消防クラブが6クラブ結成される。(富岡保育園、志岐保育園、坂瀬川保育園、宮原保育園、国照寺保育園、都呂々保育園)
	1 月	消防大学校予防科第49期入校(1人)
	2 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。 河浦分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	4 月	消防吏員5人採用(職員198人)
	7 月	署内報「あましよう」200号となる。 エンシニタス市へ消防国際交流派遣(1人)
4 年	8 月	日本消防協会から軽可搬ポンプの交付を受ける。(星光園) 救急救命中央研修所入校(1人)
	1 0 月	第1回天草地域幼年消防大会を開催する。
	1 月	消防大学校幹部研修科入校(1人) 松島分署消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	2 月	防災指導車購入、消防本部へ配備する。
	3 月	「阿蘇の火まつり」アスペクタにはしご乗り隊が出演する。 高規格救急自動車(かわせみ号)、救急普及啓発広報車(いるか号)を購入し、消防本部と中央消防署へ配備する。 嵐口少年消防クラブが日本防火協会から優良少年消防クラブの表彰を受ける。 小冊子「消防の仕事」を作成し、各小学校へ配布する。
	4 月	救急救命中央研修所入校(1人) エンシニタス市消防局から消防国際交流研修生来署(1人)
	5 月	消防大学校幹部研修科入校(1人)
	6 月	初の救急救命士誕生(1人) 南消防署はしご車オーバーホール 日本消防協会から軽可搬ポンプの交付を受ける。(星光園)
	8 月	全国消防救助技術大会(水上の部)で戸村羊士消防士が全国に輝く。
	9 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。
	1 0 月	第13回全国消防操法大会(小型ポンプの部)で五和町が準優勝
	1 1 月	天草地域災害弱者緊急通報システムが運用を開始する。(本渡市、牛深市、松島町、有明町、姫戸町、龍ヶ岳町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町、河浦町)
5 年	1 月	本渡市のさくら保育園、めぐみ保育園に幼年消防クラブが結成される。
	3 月	消防庁長官功労章を中野孝一消防長が受ける。 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。 高浜少年消防クラブが日本防火協会から優良少年消防クラブの表彰を受ける。 西天草分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	4 月	平成5年度全国統一防火標語に坂本康介消防副士長の作品が第一席となる。 消防吏員5人採用(職員198人) 119番を消防本部通信指令室に集約する。(松島町、姫戸町、龍ヶ岳町、倉岳町、苓北町、天草町)1市11町へ拡大
	8 月	第1回天草広域消防近代化検討委員会を開催する。 組合のシンボルマークが決まる。
	1 0 月	第10回全国婦人消防操法大会に星光園婦人防火クラブが出場 天草消防組合20周年記念事業を開催する。 「天草消防のあゆみ」記念誌を発刊する。 救急救命士東京研修所入所(1人)
	1 1 月	第19回熊本県消防職員親善駅伝大会で10連覇を達成 天草地域幼少年婦人防火委員会が日本防火協会から優良団体表彰を受ける。
	1 2 月	中央消防署倉岳分遣所が開所する。 新和分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
6 年	1 月	消防大学校幹部研修科入校(1人)
	2 月	中央消防署の化学消防車Ⅲ型、消防本部の防火広報車、苓北分署の連絡車を更新する。 倉岳分遣所の無線基地局及び固定局「天消倉岳」が開局する。 坂本康介消防副士長が火災予防功労が評価され熊本県知事表彰を受ける。
	3 月	通信指令室の地図検索装置を更新する。 消防本部の運搬車を更新する。 阿村少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。 中野孝一消防長退任

7 年	4 月	消防長に堤内智紹氏（第四代）就任 職員定数 202 人とする。消防吏員 6 人採用（職員 202 人）
	5 月	第 1 回救急隊員病院研修を実施する。 連絡車購入、倉岳分遣所へ配備する。
	6 月	第 1 回上級救命講習会開催 24 人に修了証を交付する。 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。（5 台目）
	7 月	第 1 回応急手当指導員講習会を実施する。 エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1 人）
	8 月	第 20 回熊本県消防ポンプ操法大会が本渡市で開催される。 日本消防協会から御所浦町婦人消防隊が軽可搬ポンプの交付を受ける。
	9 月	無線局の識別信号を変更する。
	1 1 月	防災行政無線の一括集中制御卓の運用を開始する。（本渡市、有明町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町）
	1 2 月	本渡市に宮口区婦人防火クラブが結成される。
	1 月	消防大学校警防科入校（1 人）
	3 月	化学消防自動車 I 型購入、苓北分署へ配備する。 東天草分署の消防ポンプ自動車 CD-I 型を更新する。 大道少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。
	4 月	職員定数 225 人とする。消防吏員 26 人採用（職員 225 人） 倉岳町に苓陽幼稚園幼年消防クラブが結成される。
	5 月	全国消防長会特別功労表彰を堤内智紹消防長が受ける。 本渡市に東向寺保育園幼年消防クラブが結成される。
	8 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。（河浦分署）
	1 0 月	救急救命九州研修所入校（1 人） 熊本県消防学校研修教官派遣（1 年間、1 人） エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（消防長、研修生）
	1 1 月	第 1 回天草地域幼少年婦人防火大会が開催される。 有明分署、新和分署の連絡車を更新する。 御所浦分署に救急自動車を配備する。
	8 年	1 月 消防大学校警防科入校（1 人） 第 1 回大規模災害熊本県消防広域応援合同訓練が開催される。（熊本市） 3 月 全国少年消防クラブ運営指導協議会から牟田少年消防クラブが特に優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、南消防署に配備する。 堤内智紹消防長退任
9 年	4 月	消防長に磨田敦男氏（第五代）が就任 5 人目の救急救命士誕生
	7 月	日本防火協会から防火広報車の交付を受ける。
	8 月	第 21 回熊本県消防ポンプ操法大会が小国町で開催される。 小型ポンプの部で本渡市消防団、ポンプ車の部で栖本町消防団が優勝
	9 月	大規模救急救助総合訓練を天草消防組合、警察、天草郡市医師会 3 団体合同で実施（杵宇土町） エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1 人） 南消防署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	1 0 月	第 21 回全国消防操法大会に本渡市消防団が出場し 8 位に入賞する。 天草地域幼少年婦人防火委員会が防火新聞「あこう」を創刊 日本消防協会から宮口区婦人防火クラブへ軽可搬ポンプの交付を受ける。 日本防火協会から今津少年消防クラブが優良なクラブ表彰を受ける。
	1 1 月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が開催される。（合志町） 倉岳分遣所新庁舎が竣工する。
	1 月	消防大学校予防科入校（1 人）
	2 月	河浦町に幼年消防クラブ一町田保育所ちびっこ幼年消防クラブが結成される。
	3 月	第 19 回職員意見発表会が大矢野町総合体育館で開催される。 小型動力ポンプ付き水槽車を購入中央消防署に配備する。 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天附少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
	4 月	防護服（サルトガNBC）5 着の導入
	6 月	第 1 回応急手当普及啓発指導大会を開催する。
	7 月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生 1 名）

		五和町手野保育所、城河原保育所に幼年消防クラブが結成される。
	8月	全国消防救助技術大会で吉本賢一消防士が水上の部複合検索で第1位となる。 日本消防協会から防災用車両資機材（軽可搬式消防ポンプ樋合 - 婦人防火クラブ、応急救護器具 - 宮口区婦人防火クラブ）の交付を受ける。
	9月	大矢野分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	婦人防火全国大会が熊本市で開催され、天草地域から牛深ハイヤ婦人防火クラブが出演する。 第7回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を開催する。 消防大学校警防科入校（1人）
	11月	五和分署が移転、新庁舎が落成する。 天草空港予定地で熊本県消防協会天草郡支部防災訓練を実施する。
	12月	天草地域で新たに牛深市、松島町、姫戸町、御所浦町、五和町で幼年消防クラブを結成、33団体となる。また自主防災組織が58団体となる。
10年	2月	第20回消防職員意見発表会を松島町の「アロマ」で開催する。
	3月	中央消防署の梯子付き消防自動車（30メートル級）を更新する。 五和分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。 自治体消防50周年記念消防熊本大会がパークドーム熊本で開催され、はしご乗り隊、音楽隊が参加する。また、星光園婦人消防隊、御所浦町婦人消防隊が軽可搬消防ポンプ模範操法を披露する。 全国少年消防クラブ運営指導協議会から登立小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
	4月	消防吏員4人を採用（実員225人） 8人目の救急救命士誕生
	5月	龍ヶ岳町に4つの幼年消防クラブ（大道、高戸、樋島、下桶川保育所）が結成される。
	7月	倉岳町に3つの女性防火クラブ（倉岳ポピー、倉岳レインボー、宮田えびす）が結成される。 消防交流研修生としてエンシニタス市へ1名派遣
	8月	第22回熊本県ポンプ操法大会ポンプ車の部で栖本町消防団が優勝する。 第27回全国消防救助技術大会に10人が出場する。 日本消防協会から防災機器の交付を受ける。C1級軽可搬式消防ポンプ付き軽積載車を御所浦町婦人消防隊、D1級軽可搬消防ポンプを宮口区婦人消防隊、応急救護資機材を樋合婦人消防隊へ交付する。
	9月	御所浦分署救急隊が熊本県知事の救急功労表彰を受ける。 消防大学校上級幹部科入校（1人）
	10月	携帯電話からの119番受付を開始する。 アジア消防長協会総会が福岡市で開催され、九州地区消防音楽隊フェスティバルに音楽隊が出演する。 第2回天草地域幼少年婦人防火大会を開催する。
	11月	日本防火協会から苓陽幼稚園幼年消防クラブが優良クラブの表彰を受ける。 消防協会天草郡支部防災訓練を有明町で開催する。 第21回消防職員意見発表会を龍ヶ岳町で開催する。
11年	2月	防火防災ビデオを中学・高校へ配布する。
	3月	消防年報をA4版として発行する。 南消防署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。 有明分署の救急自動車を更新し、救急資器材9項目を積載する。
	4月	熊本県共済農協連合会から救急自動車（2B型）の寄贈を受ける。 天草地域災害弱者緊急通報システム運営協議会が発足する。 天消アポロキャップを作成する。
	6月	新和町に3つの幼年消防クラブ（大多尾保育所さくら・小宮地保育所ひだまりの里・小宮地幼稚園）が結成される。
	7月	4人目の消防国際交流研修生が来署 日本消防協会から防災用車両資機材（軽可搬式消防ポンプ - 宮田えびす婦人消防隊）の交付を受ける。 第28回全国消防救助技術大会に5人が出場する。 熊本県消防職員剣道大会団体戦で優勝する。
	9月	消防協会天草郡支部防災訓練を天草町で開催する。
	10月	第8回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を開催する。 第14回全国婦人消防操法大会に樋合婦人消防隊が出場する。
	11月	第22回消防職員意見発表会を本渡市で開催する。

		倉岳町に幼年消防クラブ（倉岳保育所）が結成される。
		熊本県消防職員駅伝大会 16 年連続 21 回目の優勝
12 年	2 月	天草消防組合消防音楽隊 20 周年記念演奏会を開催する。
	3 月	天草広域消防連絡協議会が天草消防情報誌『絆』創刊号を発行する。
		天草空港航空機事故消火救難総合訓練を五和町で開催する。
		天草消防組合管理者 久々山義人氏退任
	4 月	消防吏員 4 名を採用（実員 223 人）
		新消防緊急通信指令システムの運用を開始する。
		天草消防組合管理者に安田公寛本渡市長が就任する。
	7 月	消防大学校警防科入校（1 人）
	8 月	熊本県消防剣道大会で団体の部（2 年連続）、個人の部ともに制覇する。
		第 29 回全国消防救助技術大会が熊本市で開催され 20 人が出場し、水上の部の複合検索で吉本賢一消防士が 2 度目の全国 1 位となる。
	9 月	松島分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
		第 23 回熊本県消防ポンプ操法大会が山鹿市で開催され、小型ポンプの部で牛深市消防団が優勝する。
		天草地域災害弱者緊急通報システムの緊急通報センター（消防本部）及び各市町相談センターの機器更新を行う。
	10 月	消防国際研修生としてエンシニタス市へ 1 人派遣する。
		日本防火協会から「煙体験ハウス」の助成を受ける。
	11 月	熊本県消防職員駅伝大会 17 年連続 22 回目の優勝
		熊本県消防協会天草郡支部防災訓練が姫戸町で開催される。
13 年	2 月	熊本県総合防災展が本渡市の「九州ジャスコ本渡店」で開催される。
	3 月	天草空港総合防災訓練
	4 月	消防大学校幹部研修科入校（1 人）
		第 23 回熊本県消防職員意見発表会（本渡市）
	5 月	中央消防署高規格救急自動車を更新する。
	6 月	天草消防組合解散
	7 月	天草広域連合に統合編入される。職員定数 218 人とする。
		第 13 回熊本県消防職員剣道大会個人の部で榎木副士長 2 連覇
		中央消防署消防ポンプ自動車 C D - I 型を更新する。
	8 月	第 30 回全国消防救助技術大会に 20 人が出場する。引揚救助で全国制覇
	9 月	東天草分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10 月	第 9 回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡市運動公園で開催する。
	11 月	第 4 回県下消防大規模災害対応訓練が五和町で開催される。
		熊本県幼年消防大会が松島町総合センター「アロマ」で開催される。
		熊本県消防協会天草支部の防災訓練が新和町大多尾港埋立地で開催される。
	12 月	防災消防ヘリコプターの運用要領研修会が本渡市営陸上競技場で催される。
14 年	1 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車（新和分署）の寄贈を受ける。
	3 月	五和分署救急自動車を更新する。
		熊本市の上通、手取本町市街地総合防災訓練に中央消防署はしご小隊が応援出動する。
		消防庁から生物・化学剤災害対策用消防活動資機材を貸与される。（熊本・八代・天草の 3 消防本部）
	4 月	消防吏員 8 人を採用（実員 217 人）
	5 月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生 1 名）
		松島有料道路開通を前に西の浦トンネルで防災訓練を実施する。
	8 月	第 24 回熊本県消防ポンプ操法大会が八代市で開催され、小型ポンプの部で牛深市消防団が前回に引き続き優勝する。
		第 31 回全国消防救助技術大会に 8 人が出場する。水中検索で全国 3 位
	9 月	第 1 回天草救急医療連絡協議会が消防本部で開催される。
		五和分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10 月	消防大学校予防科入校（1 人）
		新規採用職員が本渡市内の給油取扱所において異業種職場研修を実施する。
		消防国際研修生としてエンシニタス市へ 1 人派遣する。
	11 月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のため救急隊が鹿児島市へ出向
	12 月	県消防協会天草支部の防災訓練が栖本町で開催される。
15 年	1 月	消防本部指揮車を更新
	3 月	南消防署梯子付消防自動車を更新（24m 級）

		大矢野分署水槽付消防ポンプ自動車を更新 松島分署救急自動車を更新
4月		「天草広域消防30周年」を迎える。 消防吏員5人を採用(218人) 熊本県消防学校初任科46期5人入校 天草地域メディカルコントロール協議会発足(天草郡市医師会、天草保健所、基幹病院4施設、消防の7機関で構成) 熊本県防災消防航空隊派遣(2年間・1人)
7月		エンシニタス市から消防国際交流研修生来署(ジャック・グラスフォード氏) 輸送車(ニッサン・シビリアン)更新(消防本部配備) 水俣市(宝川内地区等)で土石流による災害発生(死者19人)、当本部から7日間、延91人が熊本県消防広域応援基本計画に基づき出動する。
8月		第32回全国消防救助技術大会(仙台市)に7人が出場 平成15年度熊本県総合防災訓練が本渡市で開催される。
9月		有明分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
10月		第10回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催 天草広域消防30周年記念誌「天消のあゆみ」作成
11月		第29回熊本県消防職員駅伝大会で23回目の優勝 御所浦町婦人消防隊平本イクヨ隊長が婦人消防隊育成功労者として日本消防協会会長表彰を受ける。 阿村少年消防クラブが優良少年消防クラブとして日本防火協会会長表彰を受ける。 大矢野分署普通救急自動車を高規格救急自動車に更新
16年	1月	自治体消防55周年記念大会(東京ドーム) 緊急資機材搬送車を購入(消防本部へ配備) 南消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新 消防大学校予防科入校(1人)
	2月	署内報「あましょう」30周年を迎える。
	3月	五和町消防団、日本消防協会から「まとい」受章 第24回消防職員意見発表会を有明町で開催する。 磨田敦男消防長が平成15年度消防庁長官表彰「功労章」を受章 牛深市消防団が消防庁長官表彰「表彰旗」を受章
	7月	上天草市誕生(大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町)31日付 消防国際研修生としてエンシニタス市へ1人派遣する。 えんけいじ保育園幼年消防クラブ(本渡市)、あそか保育園幼年消防クラブ(上天草市)が発足する。
	8月	第1回南九州消防職員親善剣道大会(球磨郡)で個人、団体とも優勝 第25回熊本県消防ポンプ操法大会(菊池市)で開催され、本渡市が小型ポンプの部で3位入賞する。
	9月	河浦分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	県消防協会天草支部の防災訓練が御所浦町で開催される。
	11月	各種災害対応救出救助訓練大会を五和分署で開催する。 東天草分署、苓北分署救急車を高規格救急自動車へ更新する。 第3回天草地域幼少年婦人防火大会を本渡市民センターで開催する。
17年	1月	消防大学校警防科入校(1人) 平成16年度県消防協会定例表彰で牛深市消防団が特別表彰の「まとい」を受章
	3月	全国少年消防クラブ運営指導協議会から上天草市立上小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 有明分署消防ポンプ自動車を更新する。 磨田敦男消防長退任
	4月	浦上政志消防長(第六代)就任(実員214人) 杉本司令補を総務省消防庁防災課へ派遣。
	7月	エンシニタス市からハイザー消防長他7人来署
	8月	第34回全国消防救助技術大会(さいたま市)に1人が出場する。
	9月	倉岳分署所救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。 消防大学校予防科入校(1人)
	10月	第11回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
	11月	各種災害対応救出救助訓練大会を五和分署で開催する。 県消防協会天草郡支部の防災訓練が倉岳町で開催される。 第25回消防職員意見発表会を河浦町で開催する。

18年	2月	牛深市消防団、日本消防協会から「まとい」受章 中央消防署救助工作車、水槽付消防ポンプ自動車（消防2号車）更新
	3月	有馬健治司令長が平成17年度消防庁長官表彰「功労章」を受章 天草市誕生（本渡市、牛深市、有明町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、天草町、河浦町）27日付け 松下和則司令と川端正史司令が、平成17年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	消防吏員8人を採用（実員217人） 第17回熊本県救急教育セミナーが天草地域医療センターで開催される。
	5月	第29回熊本県消防職員意見発表会（富合町）で本山消防士が優秀賞を受章する。
	8月	第35回全国消防救助技術大会（札幌市）に延べ13人が出場し、ロープブリッジ救出で瀧本班が3位に入賞する。 第26回熊本県消防ポンプ操法大会が人吉市で開催され上天草市が4位に入賞する。
	9月	西天草分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のため北九州市出向 消防大学校火災調査科入校（1人）
	12月	倉岳分遣所救急車を高規格救急車へ更新する。
19年	1月	有明分署が33年に亘る菊花配布が認められ第11回防災まちづくり大賞「住宅防火部門」消防庁長官賞を受賞する。
	3月	浦上政志消防長が平成18年度の消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 苓北町消防団が消防庁長官表彰「表彰旗」を受章 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市立新和小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 新消防救急艇「ごしょうらⅢ」が就航する。 東天草分署新庁舎が落成する。
	4月	濱田副士長を総務省消防庁消防・救急課へ派遣 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間・1人） 消防吏員3人採用（実員218人、うち派遣1人）
	8月	第36回全国消防救助技術大会（東京都）へ12人が出場する。 日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車の寄贈を受ける。
	9月	新和分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	第39回九州地区消防職員親善剣道大会、団体の部で初優勝 丸田光二司令補が第55回全国消防技術者会議で「多目的救助ネットの考案」発表
	11月	消防大学校危険物科入校（1人） 第12回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。 南消防署高規格救急自動車を更新 第4回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第26回消防職員意見発表会を新和町で開催する。
	12月	Eメール119番受信システム運用開始 消防情報メール配信システム運用開始
20年	1月	河浦分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
	3月	第10回全国消防広報コンクール「広報写真部門」で入選 自治体消防60周年記念大会（東京ドーム） 鶴田徳雄司令長が平成19年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 署内報「あましょう」400号を発刊 全国消防長会特別表彰を浦上政志消防長受賞
	4月	消防吏員6人を採用（実員218人、うち派遣1人）
	6月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	7月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生1名）
	8月	第37回全国消防救助技術大会（北九州市）に2種目4人が出場する。 第27回熊本県消防ポンプ操法大会が阿蘇市で開催され天草市が2位に入賞する。
	9月	苓北分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	11月	天草広域連合消防音楽隊発足30周年記念演奏会を天草市民センターで開催する。
21年	2月	多数傷病者救急救助総合訓練を天草市港町で開催する。 署内報「あましょう」35周年を迎える。 天草広域連合消防庁舎建設検討委員会を設置
	3月	第20回全国消防本部対抗駅伝で陸上部が4位に入賞する。 増田民雄司令長、長川布治作司令長、山田幸明司令が平成20年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章

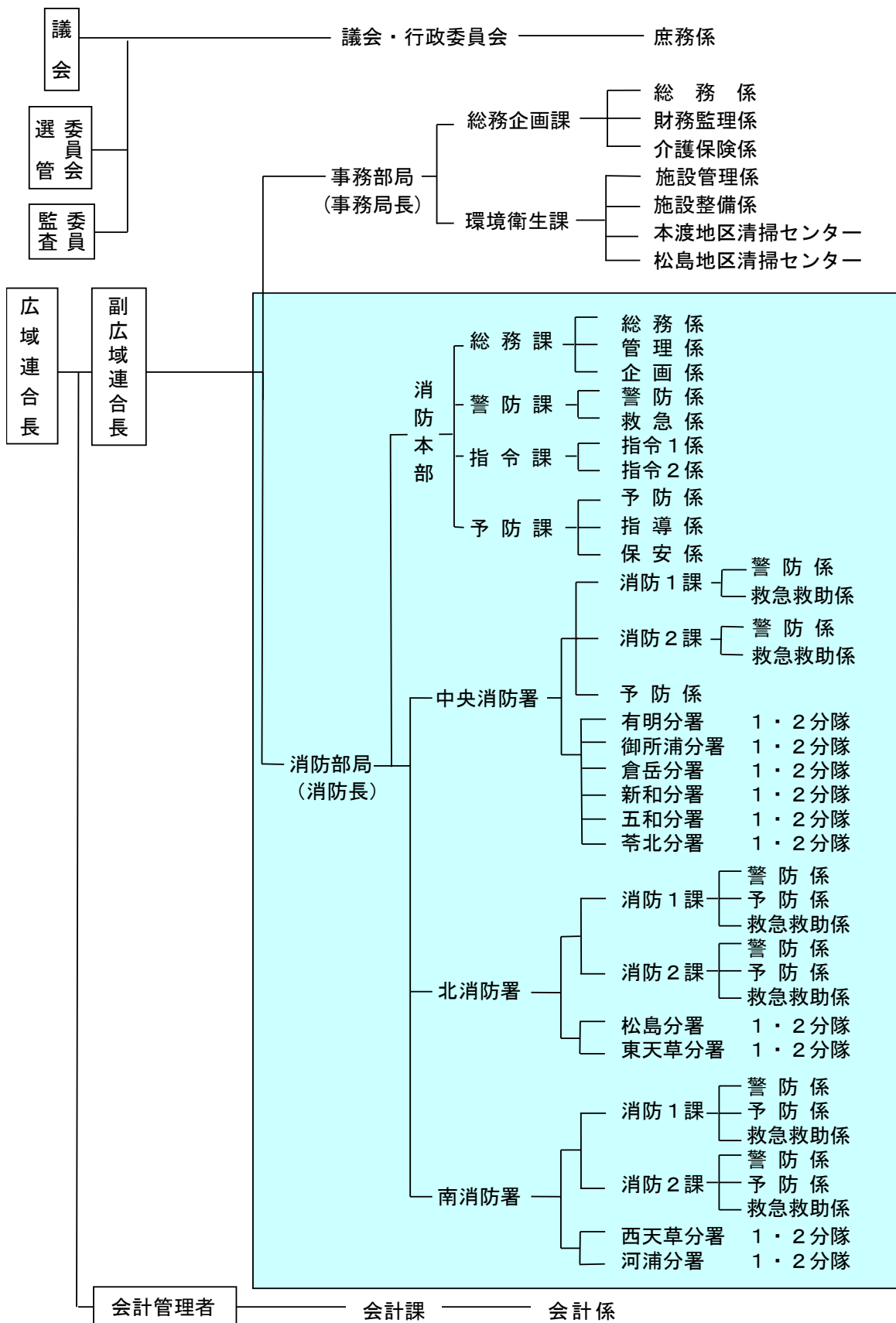
		「天消のあゆみ」記念誌を発刊する。
		全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市牛深少年消防クラブがシルバー消太賞の表彰を受ける。
		浦上政志消防長退任
22年	4月	園田長男消防長就任（第七代） 消防吏員7人採用（実員213人、うち派遣1人） 消防大学校救助科入校（1人） 新和分署及び五和分署が分遣所へ移行 第29回熊本県救急教育セミナーが天草地域医療センターで開催される。
	5月	天草広域連合消防分署分遣所移行計画諸問題検討会を設置
	8月	第38回全国消防救助技術大会（横浜市）に2種目9人が出場する。
	11月	河浦分署普通救急自動車を高規格救急車に更新 有明分署の菊花配布が、36年間で総数6,663鉢を配付して終了した。 第13回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
	2月	第27回消防職員意見発表会を消防本部で開催する。
	3月	園田長男消防長が平成21年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 中央消防署及び大矢野分署高規格救急車を更新 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市久玉少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
		園田長男消防長退任
	4月	小松英雄消防長就任（第八代） 消防吏員11人採用（実員211人、うち派遣1人） 有明分署が分遣所へ移行 天草広域連合広域計画策定審議会を設置 熊本県消防学校教官派遣（2年間1人）
	7月	天草広域連合広域計画等策定審議会より答申を受ける。
	8月	新和・五和・有明分遣所の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車へ更新する。 第39回全国消防救助技術大会（京都市）に1種目5人が出場する。 第28回熊本県消防ポンプ操法大会が荒尾市で開催され、小型ポンプの部で天草市が2位、3位に入賞する。
	10月	エンシニタス市からハイザー元消防長ら4人が表敬訪問
	11月	有明分遣所高規格救急自動車を更新 天草空港航空機事故消火救難総合訓練を開催する。 第5回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第2次天草広域連合広域計画が議会定例会で議決される。
23年	1月	消防大学校予防科入校（1人）
	3月	越口文男司令長、若山幸信司令長が平成22年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 東日本大震災へ熊本県緊急消防援助隊として救急隊及び後方支援隊を派遣（第1次隊6人、第2次隊6人） 南消防署が久玉町へ新築移転
	4月	消防吏員11人採用（実員212人、うち派遣2人） 4分遣所（有明、倉岳、新和、五和）を分署へ名称変更
	9月	消防大学校幹部科入校（1人）
	10月	九州地区消防音楽隊演奏技術研修会を天草市で開催する。 新和分署高規格救急車を更新する。 御所浦分署及び倉岳分署に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	11月	第28回消防職員意見発表会を牛深町で開催する。
	12月	第3回全国消防職員剣道大会で天草消防剣道部が3位入賞する。
24年	3月	全国少年消防クラブ運営指導協議会から上天草市中南小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブ表彰を受ける。 小松英雄消防長退任
	4月	鳥羽瀬博文消防長就任（第九代） 消防吏員11人採用（実員216人、うち派遣1人、再任用職員3人） 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人）
	4月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	8月	第29回熊本県消防ポンプ操法大会が天草市で開催され、小型ポンプの部で天草市消防団が優勝する。 天草ガスより査察車の寄贈を受ける。

25年	10月	消防大学校警防科入校（1人）
	3月	富安國男消防監、花谷雄治司令長が平成24年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 消防本部・中央消防署庁舎建設の起工式が行われる。
	4月	消防吏員9人採用（実員212人、うち派遣1人、再任用職員3人）
	5月	東天草分署連絡車を更新する。
	8月	第42回全国消防救助技術大会（広島市）に2種目8人が出場する。
26年	10月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	11月	第6回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第15回屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。 消防団120年・自治体消防65周年記念大会が東京ドームで開催される。 第29回消防職員意見発表会を消防本部で開催する。
	1月	消防大学校予防科入校（1人）
	3月	鳥羽瀬博文消防正監、福田健児司令長、原田和喜司令長が平成25年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 消防本部・中央消防署庁舎が移転落成し、一般公開が行われる。 高機能消防指令システムを更新する。 鳥羽瀬博文消防長退任
	4月	森田泰司消防長就任（第十代） 消防吏員15人採用（実員211人、うち派遣1人） 総務省消防庁から拠点機能形成車の貸与を受ける。 安田公寛天草広域連合長退任 中村五木天草広域連合長就任（第二代） 第30回熊本県消防操法大会が人吉市で開催され、小型ポンプの部で天草市が優勝する。
	8月	熊本県総合防災訓練・天草市防災訓練が天草市大矢崎緑地公園で開催される。
		消防大学校幹部科入校（1人）
		鶴本豊治司令長が平成26年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	3月	苓北分署化学消防自動車、東天草分署水槽付消防ポンプ自動車、松島分署高規格救急自動車を更新する。 消防救急デジタル無線基地局が完成する。（十万山基地局、老岳中継基地局、河浦中継基地局、平家城前進基地局）
	4月	消防吏員12人採用（実員209人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
27年	6月	消防大学校警防科入校（1人）
	8月	第44回全国消防救助技術大会（神戸市）に1人が出場する。
	10月	第7回屋内消火栓操法大会・消防救急フェアを開催する。
	11月	中央消防署防災研修車を購入する。 全国緊急消防援助隊合同訓練（千葉市）に参加する。
		中央消防署化学自動車、西天草分署水槽付消防ポンプ自動車、五和分署高規格救急自動車を更新する。
28年	3月	消防救急デジタル無線が完成する。 森田泰司消防正監、野島幸一消防監、大塚和廣司令長、佐藤誠二司令長が平成27年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 森田泰司消防長退任
	4月	大友晃消防長就任（第十一代） 大矢野分署を北消防署へ改め中央消防署、北消防署、南消防署の三署体制へと移行 消防吏員11人採用（実員211人） 熊本地震発生、熊本県消防広域応援基本計画に基づき、消火隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣（1次隊22人、2次隊17人、3次隊3人） 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
	8月	消防大学校救助科入校（1人）
		第45回全国消防救助技術大会（松山市）に5人が出場する。
	11月	第7回天草地域幼少年婦人防火大会を開催する。 北消防署指揮車を購入する。
	3月	新和分署及び御所浦分署新庁舎落成 山下弥平消防司令長が平成28年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	消防吏員7人採用（実員214人）
29年		

30年	7月	熊本県消防学校教官派遣（1人） 平成29年「九州北部豪雨」発生、熊本県緊急消防援助隊として、指揮隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣（21日間、計7隊98人を派遣）
	8月	第46回全国消防救助技術大会（仙台市）に8人が出場する。
	10月	第8回屋内消火栓操法大会が開催される。 消防大学校火災調査科入校（1人）
	1月	中央消防署御所浦分署救急車を購入する。
	2月	北消防署新庁舎落成 北消防署救助工作車（Ⅲ型）、高度救助資機材及び高度探査装置を購入する。
	3月	大友 晃消防正監、川口義広消防監が平成29年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 自治体消防70周年記念式典が国技館で開催される。 大友晃消防長退任
	4月	平野照幸消防長就任（第十二代） 消防吏員7人採用（210人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
	10月	消防大学校警防科入校（1人） 中央消防署、北消防署高規格救急車を更新する。
	11月	第32回消防職員意見発表会をホテル アレグリアガーデンズ天草で開催する。 中央消防署指揮車を更新する。
	3月	小型無人航空機「ドローン」の運用開始 平野照幸消防正監、菅原幸雄消防司令長が平成30年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 平野照幸消防長退任
31年	4月	寺中 晃消防長就任（第十三代） 消防吏員3人採用（実員211人） 天草地域災害弱者緊急通報システムの運用を構成市町が委託する民間業者へと移行させる。 熊本県消防学校教官派遣（2年間1人） 消防大学校救助科入校（1人）
	《令和》元年	5月 元号が令和となる（1日） 6月 消防大学校幹部科入校（1人） 7月 有明分署及び西天草分署新庁舎落成 8月 河浦分署新庁舎落成 天草広域連合消防本部高度救助隊が発足する。 苓北分署、東天草分署高規格救急車を更新する。
	10月	第18回屋内消火栓操法大会を開催する。
	11月	第8回天草地域幼少年女性防火大会を開催する。 第33回消防職員意見発表会をホテル アレグリアガーデンズ天草で開催する。
	2年	1月 天草信用金庫より災害対応支援車の寄贈を受ける。 3月 寺中 晃消防正監が令和元年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 中央消防署消防ポンプ自動車CD-I型を更新する。 寺中 晃消防長退任
	4月	杉本博文消防長就任（第十四代） 消防吏員5人採用（実員215人）
	5月	多言語三者間通話システムの運用を開始する。
	6月	天草設備株式会社より無人航空機「ドローン」の寄贈を受ける。 消防大学校危険物科入校（1人）
	7月	令和2年7月豪雨に伴う熊本県内消防相互応援隊として、消火隊、救助隊、捜索隊及び後方支援隊を派遣（29日間、延べ87人を派遣）
	9月	濱 優介消防士が第43回全国消防職員意見発表会で優秀賞を受賞
3年	12月	松島分署新庁舎落成 中村五木天草広域連合長が急逝される。
	2月	馬場昭治天草広域連合長就任（第三代） 梯子付き消防自動車を更新する。
	3月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース（1人） 資機材搬送車を更新し水上バイク1台を導入する。

		杉本博文消防正監、平山 剛消防監、平田日吉消防司令長が令和２年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 杉本博文消防長退任
4 年	4 月	益田徳仁消防長就任（第十五代） 消防吏員 10 人採用（実員 215 人） 消防本部を組織改革する。（火災原因調査を予防課へ移管。警防課の事務分掌を一部変更） 熊本県防災消防航空隊派遣（3 年間 1 人） 令和 3 年度熊本県消防長会春季総会及び第 44 回熊本県消防職員意見発表会をホテル アレグリアガーデンズ天草で開催する。
	7 月	Net 119 の運用を開始する。
	11 月	南消防署高規格救急車を更新する。
	1 月	北消防署訓練棟落成
	2 月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース（1 人）
	3 月	新和分署・有明分署消防ポンプ自動車 C D - I 型へ更新する。 益田徳仁消防正監、古谷 伸消防監が令和 3 年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 益田徳仁消防長退任
	4 月	寺岡貴章消防長就任（第十六代） 消防吏員 3 人採用（実員 212 人） 消防救急艇「ごしょうらⅢ」のオーバーホールを実施する。
	6 月	消防大学校警防科 110 期（1 人）
	8 月	第 50 回全国消防救助技術大会（東京都）に 8 人が出場する。
5 年	11 月	緊急消防援助隊全国合同訓練（静岡県）へ救急隊・後方支援隊を派遣
	12 月	令和 4 年度九州地区消防音楽隊演奏技術研修会を天草市で開催する。
	2 月	新和分署高規格救急車を更新する。
	4 月	消防吏員 4 人採用（実員 208 人） 五和分署・倉岳分署消防ポンプ自動車 C D - I 型へ更新する。 南消防署指揮車を更新する。 中央消防署小型動力ポンプ付水槽車を更新する。
	7 月	総務省消防庁から小型救助車の無償貸与を受ける。
	8 月	第 51 回全国消防救助技術大会（札幌市）に 2 種目 6 人が出場する。
	10 月	中央消防署支援Ⅲ型（人員輸送車）を更新する。
	11 月	苓北分署新庁舎落成 第 37 回消防職員意見発表会をアマクササンタカミングホテルで開催する。
6 年	2 月	中央消防署高規格救急車を更新する。
	3 月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース（1 人） 東天草分署消防ポンプ自動車 C D - I 型へ更新する。
	4 月	消防吏員 8 人採用（実員 212 人） 熊本県消防学校教官派遣（2 年間 1 人） 消防本部を組織改革する。（予防課の係再編）

4 天草広域連合の組織図



5 天草広域連合特別職及び役職名

令和6年4月1日現在

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	市 町 役 職
広域連合長	馬 場 昭 治	令 和 3 年 2 月 21 日	天 草 市 長
副広域連合長	堀 江 隆 臣	平 成 26 年 12 月 22 日	上 天 草 市 長
	山 崎 秀 典	令 和 5 年 2 月 15 日	苓 北 町 長
議 長	若 山 敬 介	令 和 4 年 5 月 24 日	天 草 市 議
副 議 長	桑 原 千 知	令 和 5 年 5 月 30 日	上 天 草 市 議
会 計 管 理 者	本 田 一	令 和 5 年 4 月 1 日	天草市会計管理者
監 査 委 員	勝 木 幸 生	令 和 4 年 5 月 24 日	天 草 市
	水 野 博 之	令 和 6 年 4 月 1 日	上 天 草 市

6 消防本部・消防署事務分掌

(総務課)

総務係

- (1) 消防部門の渉外に関する事。
- (2) 消防部門の式典、儀礼及び交際に関する事。
- (3) 消防部門の苦情の処理に関する事。
- (4) 消防部門の公印に関する事。
- (5) 消防職員(以下「職員」という。)の任免、服務、賞罰及び身分に関する事。
- (6) 消防部門の福利厚生に関する事。
- (7) 消防長会及び消防協会に関する事。
- (8) 各市町消防担当課長会議及び消防担当者会議に関する事。
- (9) 消防部門の庶務に関する事。

管理係

- (1) 消防職員の貸与品に関する事。
- (2) 消防施設の維持管理に関する事。
- (3) 消防部門の車両の登録及び検査に関する事。
- (4) 消防部門の物品の購入、用度に関する事。
- (5) その他管理に関する事。

企画係

- (1) 消防行政の企画及び調整に関する事。
- (2) 消防部門の広報及び広聴に関する事。
- (3) 消防音楽隊に関する事。
- (4) 天草広域消防連絡協議会に関する事。
- (5) 梯子乗り隊に関する事。
- (6) その他企画情報に関する事。

(警防課)

警防係

- (1) 消防職員の教育訓練に関する事。
- (2) 防災計画及び訓練計画の作成並びに実施に関する事。
- (3) 消防相互応援及び出動計画に関する事。
- (4) 各種災害の統計に関する事。
- (5) 機械器具等の維持管理及び改善研究に関する事。
- (6) 救助業務の計画及び訓練に関する事。
- (7) 救助資機材に関する事。
- (8) 救助隊の掌握及び運営に関する事。
- (9) 救助技術の研究に関する事。
- (10) その他警防に関する事。

救急係

- (1) 救急業務の計画及び訓練に関する事。
- (2) 救急資機材に関する事。
- (3) 救急及び救命の研究に関する事。
- (4) 救急技術の指導及び救急知識の普及啓発に関する事。
- (5) その他救急に関する事。

(予防課)

予防係

- (1) 火災予防条例に関する事。
- (2) 防火対象物の防火管理に関する事。
- (3) 防火思想の普及及び指導に関する事。
- (4) 防火委員会に関する事。
- (5) 自衛消防隊及び少年消防クラブ等の指導育成に関する事。
- (6) その他予防に関する事。

指導係

- (1) 建築物の許可、認可及び確認の同意に関する事。
- (2) 消防用設備等に関する事。
- (3) 違反防火対象物の指導取締り及び措置命令に関する事。
- (4) その他予防に関する事。

保安係

- (1) 危険物の規制に関すること。
- (2) 指定可燃物の規制に関すること。
- (3) 危険物取扱者及び保安監督者の指導育成に関すること。
- (4) 違反危険物施設の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (5) 高圧ガス及び液化石油ガスの安全指導に関すること。
- (6) 火薬類消費許可（煙火）に関すること。
- (7) 危険物安全協会に関すること。
- (8) その他危険物に関すること。
- (9) 火災原因及び損害の調査に関すること。

(指令課)

指令1係、指令2係

- (1) 通信業務に関すること。
- (2) 通信施設の維持管理、改善に関すること。
- (3) 気象観測、気象情報及び災害情報に関すること。
- (4) 救急医療情報に関すること。
- (5) 消防統計に関すること。
- (6) その他通信に関すること。

(消防署・消防課)

警防係

- (1) 服務及び規律に関すること。
- (2) 職員の配置に関すること。
- (3) 統計及び広報に関すること。
- (4) 物品の出納及び保管に関すること。
- (5) 防災計画及び訓練計画の作成及び実施に関すること。
- (6) 火災の警戒防御に関すること。
- (7) 水災その他特殊災害に関すること。
- (8) 消防通信に関すること。
- (9) 消防気象に関すること。
- (10) 地理、水利に関すること。
- (11) 各種災害の調査及び報告並びに統計に関すること。
- (12) 火災原因及び損害等の調査に関すること。
- (13) 罹災証明に関すること。
- (14) 署の庶務に関すること。
- (15) その他警防に関すること。

予防係

- (1) 火災予防条例に関すること。
- (2) 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
- (3) 危険物の規制に関すること。
- (4) 建築確認の同意に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 消防用設備等に関すること。
- (7) 違反防火対象物の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (8) 自衛消防隊及び少年消防クラブ等の指導育成に関すること。
- (9) その他予防に関すること。

救急救助係

- (1) 救急救助業務の実施に関すること。
- (2) 救急救助統計に関すること。
- (3) 救助隊の運営に関すること。
- (4) 救急救助及び消防機械器具等の教育訓練に関すること。
- (5) 消防機械器具の維持管理及び改善研究に関すること。
- (6) その他救急救助に関すること。

7 消防本部・消防署人員配置表

令和6年4月1日現在

区 分			階級							計	
			正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長		消防士
消防本部	小 計		1	3	1	9	4	4	5	10	37
	消 防 長		1								1
	次 長			1							1
	総務課	課 長		(1)							
		課 長 補 佐				1					1
		総 務 係				1		1	1		3
		管 理 係				(1)		1			1
		企 画 係				(1)					
	指令課	課 長		1							1
		指 令 係				2	2	2	3	1	10
	警防課	課 長		1							1
		警 防 係				1					1
		救 急 係				1					1
	予防課	課 長			1						1
		課 長 補 佐				1					1
		予 防 係				1					1
		指 導 係					1				1
	保 安 係					1				1	
派遣・消防学校等						1		1	9	11	
消防署	小 計				3	33	38	35	31	35	175
	中央消防署	中 央 消 防 署			1	9	12	4	11	8	45
		有 明 分 署				1	2	2	1	2	8
		御 所 浦 分 署				1	2	4	3		10
		倉 岳 分 署				1	2	3		2	8
		新 和 分 署				1	3	1	1	2	8
		五 和 分 署				1	3	1	2	1	8
		苓 北 分 署				1	1	2	2	2	8
	北消防署	北 消 防 署			1	6	3	6	2	7	25
		松 島 分 署				1	2	1	2	2	8
		東 天 草 分 署				1	3	1	1	2	8
	南消防署	南 消 防 署			1	8	1	4	2	7	23
		西 天 草 分 署				1	2	3	2		8
		河 浦 分 署				1	2	3	2		8
合 計			1	3	4	42	42	39	36	45	212

() は兼務

8 天草広域連合一般会計予算（当初）

（歳入）

（単位・千円）

款		令和5年度	令和6年度	比較
1	分担金及び負担金	3,498,924	3,892,567	393,643
2	使用料及び手数料	67,279	145,848	78,569
3	国庫支出金	14,145	160,040	145,895
4	県支出金	33,578	37,762	4,184
5	財産収入	29	335	306
6	寄附金	1	1	0
7	繰入金		81,490	81,490
8	繰越金	1	1	0
9	諸収入	48,004	46,104	△1,900
歳入合計		3,661,961	4,364,148	702,187

（歳出）

（単位・千円）

款		令和5年度	令和6年度	比較
1	議会費	1,480	1,499	19
2	総務費	79,389	158,850	79,461
3	民生費	37,885	48,025	10,140
4	衛生費	1,542,798	2,014,730	471,932
5	消防費	1,984,881	2,140,712	155,831
6	公債費			0
7	諸支出金	28	332	304
歳出合計		3,646,461	4,364,148	717,687

9 消防予算(当初)

(歳入)

(単位・千円)

款	項	令和5年度	令和6年度	比 較	前年比 (%)
1 分担金及び負担金	1 負担金	1,929,818	2,072,111	142,293	107%
2 使用料及び手数料	1 手数料	611	614	3	100%
3 国庫支出金	1 補助金	14,145	22,298	8,153	158%
4 県支出金	1 委託金	33,578	37,762	4,184	112%
5 財産収入	1 財産売払収入	2	4	2	200%
6 繰入金	1 繰入金			0	-
7 繰越金	1 繰越金			0	-
8 諸収入	1 雑入	6,727	7,923	1,196	118%
歳入合計		1,984,881	2,140,712	155,831	108%

(歳出)

(単位・千円)

款・項・目	令和5年度	令和6年度	比 較	前年比 (%)
消防費	1,981,881	2,137,712	155,831	108%
(1) 常備消防費	1,699,088	1,840,499	141,411	108%
(2) 消防施設費	90,631	259,784	169,153	287%
(3) 消防庁舎建設事業費	158,917	0	△158,917	皆増
(4) 天草空港消防業務受託事業費	33,245	37,429	4,184	113%
予備費	3,000	3,000	0	100%
歳出合計	1,984,881	2,140,712	155,831	108%

10 基準財政需要額及び常備消防費負担金(当初)

(単位・千円)

区 分	消防費基準財政需要額			常備消防費負担金		
	令和5年度採用 (令和4年度)	令和6年度採用 (令和5年度)	比 較	令和5年度	令和6年度	比 較
天 草 市	1,462,692	1,468,111	5,419	1,283,088	1,374,036	90,948
上 天 草 市	538,681	544,456	5,775	472,535	509,567	37,032
天草郡苓北町	198,578	201,415	2,837	174,195	188,508	14,313
合 計	2,199,951	2,213,982	14,031	1,929,818	2,072,111	142,293

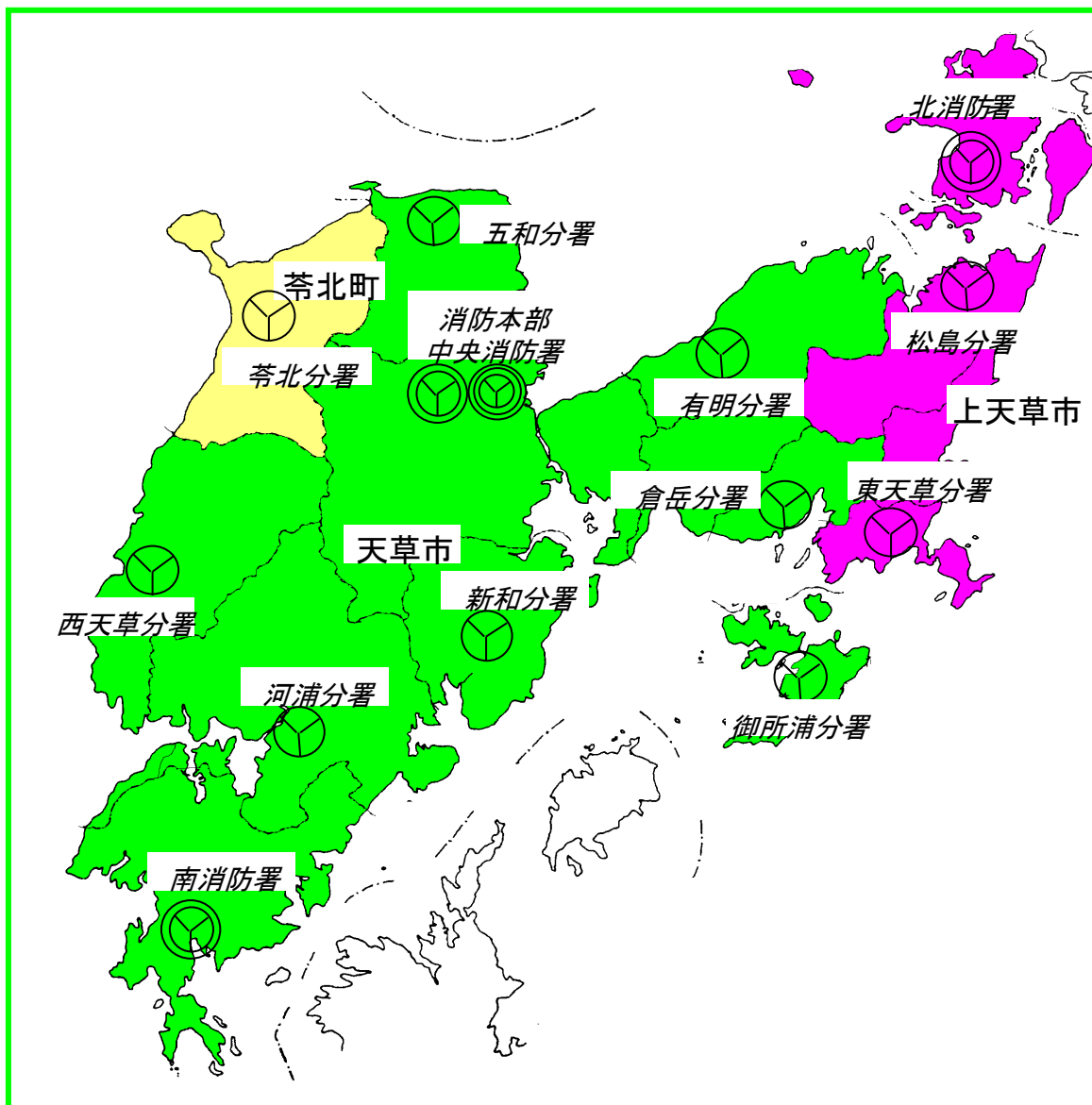
※ 基準財政需要額は前年度額を基準とするため前年度の額を記載

※ 常備消防負担金には、天草空港消防業務受託事業費負担金は含まない。

消防施設と現有勢力

1 天草広域連合消防本部・署・分署配置図

令和6年4月1日現在



凡 例	
	消 防 本 部
	消 防 署
	分 署

2 消防庁舎の状況

令和6年4月1日現在

区 分		所在地	庁舎構造	延べ面積 (㎡)
本部・中央消防署		天草市本渡町広瀬1687番地2	RC一部S造3階建	3,857.24
中央消防署	有明分署	天草市有明町赤崎2030番地8	S造平屋	229.00
	御所浦分署	天草市御所浦町御所浦3526番地12	RC造2階建	214.00
	倉岳分署	天草市倉岳町棚底850番地1	S造一部2階建	233.33
	新和分署	天草市新和町小宮地658番地	S造平屋	207.20
	五和分署	天草市五和町二江4915番地1	S造平屋	257.20
	苓北分署	天草郡苓北町志岐1231番地	S造平屋	296.00
北消防署	北消防署	上天草市大矢野町中11582番地33	S造平屋	687.92
	松島分署	上天草市松島町合津4276番地540	S造平屋	239.40
	東天草分署	上天草市龍ヶ岳町高戸2095番地1	S造一部2階建	319.85
南消防署	南消防署	天草市久玉町1216番地13	S造平屋	696.55
	西天草分署	天草市天草町高浜南493番地6	S造平屋	231.96
	河浦分署	天草市河浦町白木河内238番地	S造平屋	239.50
合 計		1本部3署10分署		

3 市町別消防水利状況

令和6年4月1日現在

区 分	天草市	上天草市	苓北町	合 計
公設消火栓（基準適合のみ）	958	262	15	1,235
公設防火水槽（基準適合のみ）	909	287	113	1,309
指定水利		2		2
その他の水利	109	12	17	138
公設耐震性貯水槽	18	2		20
公設耐震性貯水槽（飲料水兼用）				

4 現有消防力の状況

令和6年4月1日現在

区分	小型 水槽付 ポンプ車	小型 ポンプ 積載車	水槽 付ポン プ車	化 学 車	救 助 工 作 車	救急車		は し ご 車	水 槽 車	指 揮 車	拠点 機能 形成車	資 機 材 搬 送 車	小 型 救 助 車	(支 援 Ⅲ 型 人 員 輸 送 車)	査 察 ・ 広 報 ・ 連 絡 車	そ の 他 車 両	消 防 救 急 艇	合 計
						高 規 格	普 通											
消 防 本 部															4	3		7
中 央 消 防 署	1		1 (1)	1	1	3 (1)		1	1	1	1	1	1	1				14 (2)
有 明 分 署	1					1												2
御所浦分署		1					1										1	3
倉 岳 分 署	1					1												2
新 和 分 署	1					1												2
五 和 分 署	1					1												2
苓 北 分 署				1		1						1			1			4
北 消 防 署			1		1	1				1							1	5
松 島 分 署			1			1									1			3
東天草分署	1					1									1			3
南 消 防 署			1			2 (1)		1		1					1			6 (1)
西天草分署			1			1												2
河 浦 分 署			1			1									1			3
合 計	6	1	6 (1)	2	2	15 (2)	1	2	1	3	1	2	1	1	9	4	1	58 (3)

() 書きは内数非常用車両

※ 消防本部その他の車両～防災指導車・防災研修車・災害対応支援車
北消防署その他の車両～ボートトレーラー

5 消防団の現勢

令和6年4月1日現在

区分	分団数	消防団員		ポンプ車	積載車	小型ポンプ
		定員	実員			
天草市消防団	53	3,200	2,361 (女性 37) (本部 25) (女性 22)	3	185	185
本渡方面隊	9		493	2	32	32
牛深方面隊	7		419		37	37
有明方面隊	7		196		16	16
御所浦方面隊	5		128 (女性 15)		11	11
倉岳方面隊	3		130		11	11
栖本方面隊	4		141	1	12	12
新和方面隊	3		132		10	10
五和方面隊	5		295		23	23
天草方面隊	4		153		13	13
河浦方面隊	6		249		20	20
上天草市消防団	21	1,050	857 (女性 14)	0	59	60
大矢野町	8		338		29	30
松島町	6		204		12	12
姫戸町	3		91		6	6
龍ヶ岳町	3		125		12	12
機能別分団	1		99			
苓北町消防団	5 (うち機動分団 1)	330	244 (女性 9)		17	17
合 計	79	4,580	3,462 (女性 60)	3	261	262

小型ポンプは積載車の小型ポンプを含む

6 勤続年数別職員数

令和6年4月1日現在

区分	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	合 計
合計	1	3	4	42	42	39	36	45	212
平均（年）	42.0	38.0	40.3	31.0	22.5	14.1	10.7	4.9	17.5
0 ～ 1								8	8
1 ～ 2								4	4
2 ～ 3								3	3
3 ～ 4								9	9
4 ～ 5								4	4
5 ～ 6								2	2
6 ～ 7								5	5
7 ～ 8							3	3	6
8 ～ 9						1	6	3	10
9 ～ 10							9	2	11
10 ～ 11						3	9	2	14
11 ～ 12					1	5	1		7
12 ～ 13						6	6		12
13 ～ 14					2	7	1		10
14 ～ 15					1	9	1		11
15 ～ 16					3	4			7
16 ～ 17					3	2			5
17 ～ 18					3				3
18 ～ 19					5	2			7
19 ～ 20									
20 ～ 21									
21 ～ 22				1	4				5
22 ～ 23				2	5				7
23 ～ 24									
24 ～ 25				2	2				4
25 ～ 26									
26 ～ 27				2	2				4
27 ～ 28									
28 ～ 29				1	1				2
29 ～ 30				15	7				22
30 ～ 31				4	1				5
31 ～ 32				3	2				5
32 ～ 33									
33 ～ 34				4					4
34 ～ 35			1	3					4
35 ～ 36									
36 ～ 37		2		4					6
37 ～ 38									
38 ～ 39									
39 ～ 40		1		1					2
40 ～ 41									
41 ～ 42	1		3						4

7 年齢別職員数

令和6年4月1日現在

区 分	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	合 計
18								2	2
19								3	3
20								2	2
21								4	4
22								6	6
23								5	5
24								4	4
25								5	5
26							1	3	4
27							2	6	8
28						1	7	1	9
29							5	2	7
30							8	2	10
31						3	4		7
32						10	5		15
33						8	2		10
34						4	2		6
35					3	5			8
36					2	1			3
37					3	3			6
38					3	3			6
39					3	1			4
40					5				5
41				1	1				2
42					2				2
43					1				1
44				1	6				7
45				2	2				4
46									
47				9	1				10
48				4	1				5
49				9	6				15
50				2					2
51				2	1				3
52			1	5	2				8
53				1					1
54		1		4					5
55		1							1
56									
57		1		1					2
58				1					1
59	1		3						4
60									
合 計	1	3	4	42	42	39	36	45	212
平均（年齢）	57.0	54.0	55.5	48.5	42.2	33.7	30.0	23.8	36.4

8 職員の特殊技能

令和6年4月1日現在

区 分		人数	区 分		人数
自動車等運転免許	大型運転免許	183	玉掛技能者		111
	中型運転免許	11	小型移動式クレーン運転技能者		116
	中型運転免許 (限定)	0	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		63
	準中型運転免許	3	危険物取扱者		204
	普通運転免許	15	毒劇物取扱者		8
	自動二輪運転免許	81	衛生管理者		2
	大型特殊運転免許	41	電気工事士		18
	普通2種運転免許	14	ガス溶接士		7
船舶免許	1級小型船舶操縦士	9	消防設備士		73
	2級小型船舶操縦士	125	防災士		13
	特殊小型船舶操縦士	54	第1級陸上特殊無線技士		4
救急関係資格	救急救命士	88	第2級陸上特殊無線技士		107
	救急隊資格者 (標準・Ⅱ課程)	109	第3級陸上特殊無線技士		95
	応急手当指導員資格者	197	予防技術資格	防火査察	111
潜水土		189		消防用設備等	30
ドローン操縦士（内ライセンス有）		27 (3)		危険物	57
				三種認定者	22

9 消防音楽隊

消防音楽隊は、昭和54年10月1日に発足以来、消防式典をはじめ各種行事に参加し、音楽を通じて住民の防火意識の高揚を図るなど広報活動の推進に努めています。

(1) 隊員構成

令和6年4月1日現在

区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
隊 長	1					1
副 隊 長	1					1
楽 長		1				1
副 楽 長		1				1
隊 員	5	7	9	5	1	27
予 備 隊 員					4	4
合 計	7	9	9	5	5	35

(2) 楽器構成

令和6年4月1日現在

区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
フ ル ー ト					1	1
ピ ッ コ ロ					1	1
ク ラ リ ネ ッ ト		3	2		1	6
バスクラリネット		1				1
アルトサククス	1	1	1			3
テナーサククス	1			1		2
ホ ル ン	1		1			2
ユーフォニウム			1		1	2
トロンボーン	1	1		1	1	4
トランペット	2	1	1	2		6
チ ュ ー バ		1	1			2
パーカッション	1	1	2	1		5
合 計	7	9	9	5	5	35

(3) 年齢構成

令和6年4月1日現在

年 齢	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	合計
人 数		11	14	10	35

10 演奏活動出場状況

平成30年度～令和5年度

区 分		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
出 場 数	部内関係						
	市町関係	2	2			3	4
	そ の 他	3	4			1	1
	合 計	5	6			4	5

※令和2・3年度は新型コロナ対策のため各行事が中止

11 月別演奏活動状況

令和5年度

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出 場 数	部内関係													
	市町関係	1							1		2			4
	そ の 他							1						1
	合 計	1						1	1		2			5

〈令和5年度演奏活動状況〉

4月 牛深ハイヤパレード

10月 九州地区消防音楽隊演奏技術研修会（北九州市）

11月 福連木子守唄祭り

1月 上天草市消防出初式

1月 天草市消防出初式（ラッパ隊）

1 2 職員研修等実施状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

実施機関	研修科目	期間	人員
全国消防長会 九州支部 熊本県支部	第1回消防実務講習会	7月27日	1人
	消防音楽隊演奏技術研修会	10月12日～10月13日	3人
	消防実務講習会及び消防法令違反是正事例発表会	10月13日	1人
	予防実務研修会	1月15日～ 1月26日	1人
	熊本県消防長会違反是正事例研究会	10月20日	2人
	熊本県消防長会女性職員研修会	11月24日	1人
	熊本県消防長会総務研修会	2月19日	4人
消防大学校	高度救助コース	2月29日～ 3月15日	1人
	特別講習会	12月21日	5人
熊本県消防学校	初任科	4月 6日～ 9月15日	4人
	中級幹部科	10月 2日～10月11日	2人
	救助科	10月19日～11月17日	3人
	警防科	11月27日～12月 8日	2人
	火災調査科	12月11日～12月22日	2人
	救急科	1月 9日～ 3月 1日	6人
	危険物科	3月 4日～ 3月 8日	2人
	実火災訓練研修	1月24・25・26日	各2人
	模擬火災訓練研修	3月 5・ 6・ 7日	各2人
	警防隊員研修	3月11日～ 3月15日	2人
その他の機関	救急救命東京研修所（前期）	4月 5日～10月 4日	1人
	指導救命士養成研修（九州研修所）	5月24日～ 7月 5日	1人
	救急救命九州研修所	9月 1日～ 3月11日	1人
	救命士再教育	12月 1日	4人
	就業前病院研修	5月 8日～ 6月30日	4人
	気管挿管病院実習	1月 9日～ 2月27日	1人
	玉掛け技能講習	4月25日～ 4月27日	3人
	小型クレーン運転技能講習	7月 4日～ 7月 6日	6人
	安全運転管理者等法定研修	8月2・3日、10月3日	4人
	安全運転実技研修	12月 6日～12月 7日	2人
	〃	2月 6日～ 2月 9日	1人
	県下消防本部向けドローン研修会	1月24日	1人
	予防技術講習会	8月 5日	1人
	調査技術会議	2月15日	2人
	メンタルヘルスマネジメント実践研修	6月21日	1人
	健康管理監督者セミナー	8月28日	1人
	法制執務研修	9月 5日	1人
	人権同和問題に関する事業主等研修会	9月 8日	1人
	消防職員安全衛生管理研修会	9月21日～ 9月22日	1人
	ハラスメント等相談窓口相談員向け研修（Web）	11月21日	1人
職員研修	職員研修（職場におけるパワーハラスメント） グループワーク	11月 6～12月19日 12回実施	201人
	その他「天草広域連合人材育成教育訓練要綱」により適宜実施		

1 3 消防相互応援協定の状況

令和6年4月1日現在

協 定 の 名 称	協定市町村等	応援の内容	締結年月日
熊本県消防相互応援協定	熊 本 県 内 全 市 町 村 消 防 機 関	火災、その他の災害	平 成 27 年 4 月 1 日
消 防 相 互 応 援 協 定	鹿 児 島 県 阿 久 根 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部	救急業務	昭 和 56 年 11 月 1 日
天草空港及びその周辺 における消火救難活動 に 関 す る 協 定	天 草 空 港	消火救難活動	平 成 12 年 3 月 14 日

1 4 消防救助技術大会出場結果

区 分		県大会		九州大会		全国大会	
		出場人員	入賞数	出場人員	入賞数	出場人員	入賞数
平成2年	陸上	77	63	29	28	8	8
	水上	21	15				
3年	陸上	85	74	33	33	5	5
	水上	19	16				
4年	陸上	88	60	28	28	5	5
	水上	16	16	6	6	1	1
5年	陸上	87	65	36	23	1	1
	水上	20	12	6	6	1	1
6年	陸上	79	60	26	26	5	5
	水上	16	12	2	2	1	1
7年	陸上	76	69	27	23		
	水上	18	17	6	2	1	1
8年	陸上	85	70	37	大会中止 大会中止	2	2
	水上	28	25	7		1	1
9年	陸上	85	71	32	26	1	1
	水上	18	7	1	1	1	1
10年	陸上	63	35	20	20	6	6
	水上	26	23	5	5	5	5
11年	陸上	49	46	22	22	5	5
	水上	22	15	4	4		
12年	陸上	69	43	36	36	15	15
	水上	14	14	5	5	5	5
13年	陸上	69	56	39	36	16	16
	水上	15	12	4	4	4	4
14年	陸上	74	64	33	21	4	4
	水上	23	23	5	5	4	4
15年	陸上	66	53	32	16	7	7
	水上	18	17	3	3		
16年	陸上	67	48	27	13		
	水上	12	12	3			
17年	陸上	41	32	21	16	1	1
	水上	12	12	3	3		
18年	陸上	53	42	9	9	9	9
	水上	12	9	3	3	3	3
19年	陸上	54	38	23	9	9	9
	水上	19	15	8	8	3	3
20年	陸上	44	38	14			
	水上	21	20	4	4	4	1
21年	陸上	45	27	24	9	9	4
	水上	13	9	-	-		
22年	陸上	48	13	10	1	5	1
	水上	20	6	-	-		
23年	陸上	大会中止		大会中止		大会中止	
	水上						
24年	陸上	45	16	14	1		
	水上	18	11	-	-	3	
25年	陸上	48	42	15	10	8	8
	水上	25	21	-	-		
26年	陸上	56	52	9	4	6	大会中止
	水上	24	21	-	-		
27年	陸上	56	36	14		1	
	水上	21	18	-			
28年	陸上	大会中止		大会中止		5	1
	水上						
29年	陸上	51	36	10	5	5	
	水上	18	17	-	-	3	3
30年	陸上	51	27	10	5	5	大会中止
	水上	18	13	-	-		
令和元年	陸上	51	41	19	10		
	水上	28	15	-	-		
令和2年	陸上	大会中止		大会中止		大会延期	
	水上						
令和3年	陸上	大会中止		大会中止		大会延期	
	水上						
令和4年	陸上	34	23	5	0	3	3
	水上	-	-	-	-	5	3
令和5年	陸上	28	21	9	9	6	1
	水上	-	-	-	-		

※令和3年度から水上県大会なし ※平成21年度から水上九州大会なし

消 防 通 信

1 月別119番着信状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	火災	救急	災害他	間違い	いたずら	問合せ	通報訓練	回線試験	転送	その他	合計
1月	5	486	14	21		44	70	66	8	44	758
2月	6	456	11	15		30	82	48	5	45	698
3月	4	491	9	27		21	178	86	9	47	872
4月	8	442	9	23		26	71	65	3	67	714
5月	3	473	9	23		31	99	49	5	47	739
6月	5	470	16	25		21	111	61	8	44	761
7月	1	585	10	18		22	42	53	10	67	808
8月	3	635	16	27		33	55	37	5	76	887
9月	2	505	20	26		37	90	57	7	38	782
10月	6	501	6	16		26	108	51	3	43	760
11月	8	511	17	24		27	165	49	5	54	860
12月	2	670	11	19		28	131	63	8	64	996
合計	53	6,225	148	264	0	346	1,202	685	76	636	9,635

2 市町別災害出動覚知方法

令和5年1月1日～令和5年12月31日

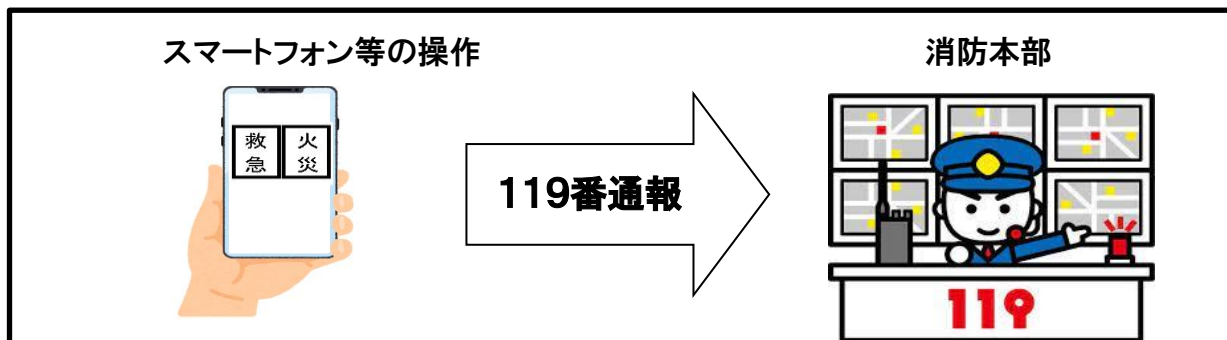
区 分	119			加入電話	駆け付け	Qネット通報	その他	合計
	加入電話	携帯	I P					
天草市	1,744	1,796	502	346	58	39	209	4,694
旧本渡市	502	856	409	132		16	4	1,919
旧牛深市	300	242	90	32	4	4	5	677
有明町	120	123		30	15	3	3	294
御所浦町	127	77		58	14	3	186	465
倉岳町	93	87	1	19	5		1	206
栖本町	73	39		4		4		120
新和町	80	63		9	2	1	2	157
五和町	204	139	2	22	3	4	4	378
天草町	104	78		18	11	1	1	213
河浦町	141	92		22	4	3	3	265
上天草市	677	714	241	121	16	25	28	1,822
大矢野町	270	417	154	72	8	12	13	946
松島町	130	161	87	21	4	8	3	414
姫戸町	87	48		6		3	4	148
龍ヶ岳町	190	88		22	4	2	8	314
天草郡苓北町	159	117	34	43	3	4	3	363
合 計	2,580	2,627	777	510	77	68	240	6,879

3 聴覚言語障害者に対するシステム

—— ネット１１９ ——

「ネット１１９」とは、スマートフォンやタブレットなどインターネットを利用できる端末機を操作してあらかじめ登録していた情報を送信することにより、消防本部の通信指令センターへ１１９番通報を行うことができるサービスです。

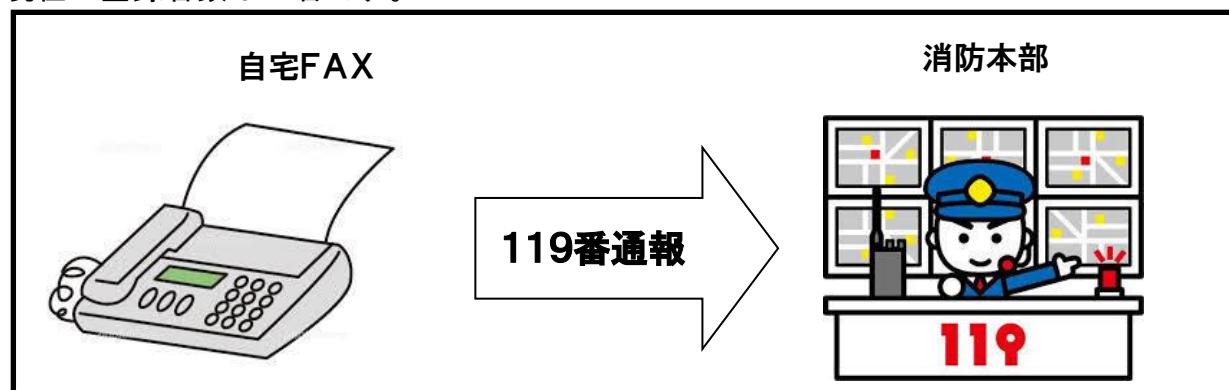
令和３年７月１日から運用開始しています。



—— FAX１１９ ——

「FAX１１９」とは、音声での１１９番通報が困難な方が消防本部の通信指令センターへFAXすることにより、１１９番通報を行うことができるサービスです。

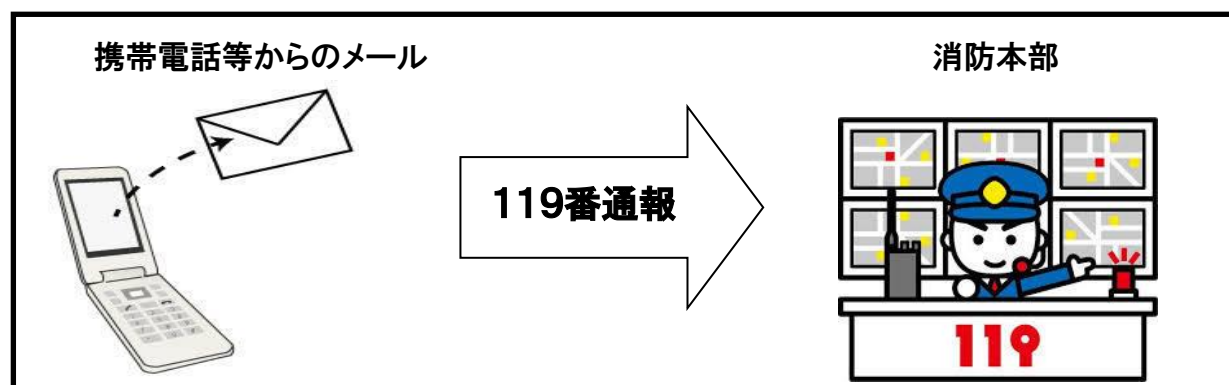
現在の登録者数は６名です。



—— メール１１９ ——

「メール１１９」とは、携帯電話やパソコンなどのインターネットを利用できる端末機を使用してメールにより消防本部の通信指令センターへ１１９番通報を行うことができるサービスです。

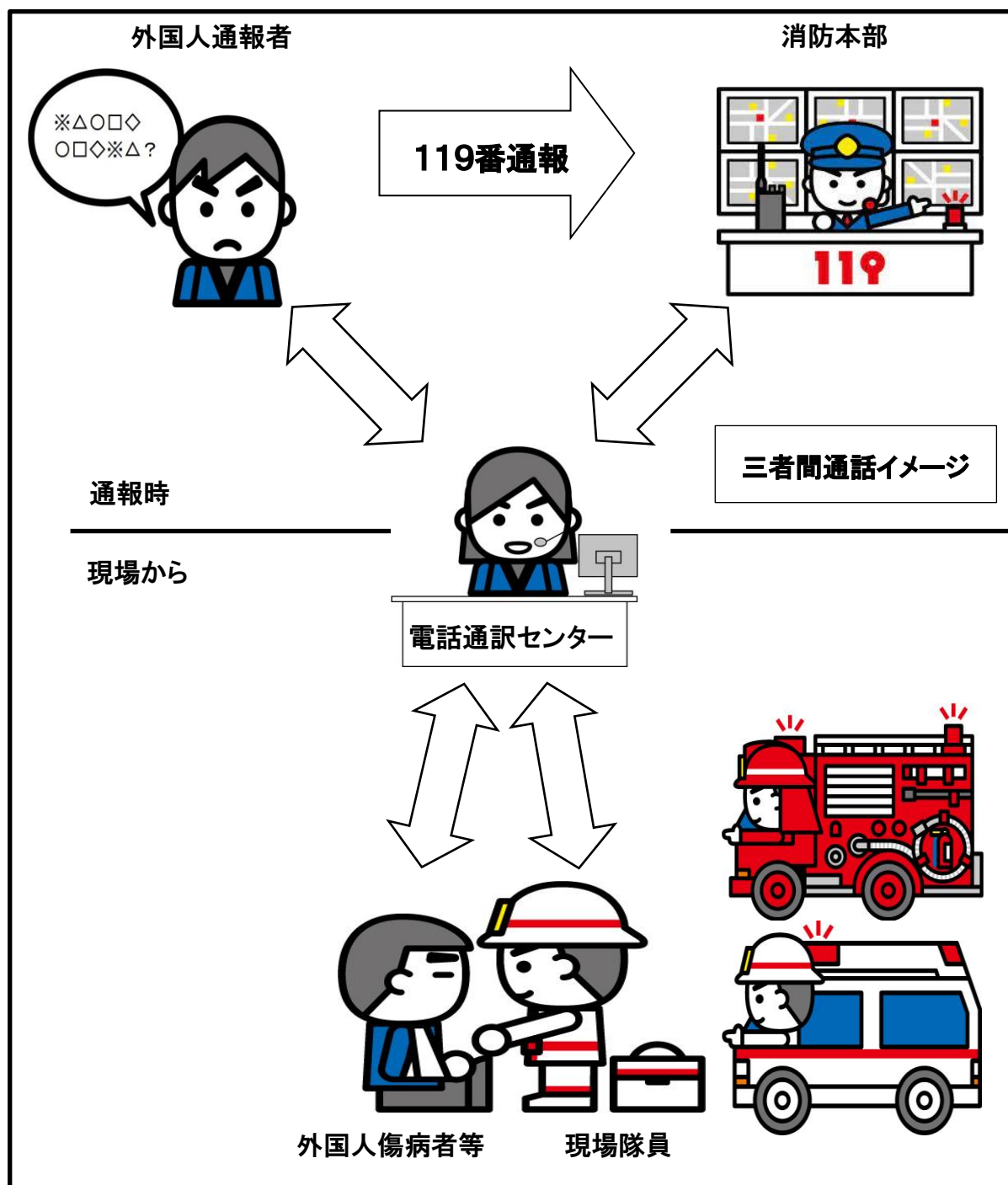
現在の登録者数は５名です。



4 外国人へ対するシステム

—— 三者間同時多言語通訳システム ——

「三者間同時多言語通訳サービス」とは、外国人からの119番通報や外国人のいる救急現場での救急活動等において、電話通訳センターを介し対応するサービスです。
令和2年5月1日から運用を開始し、32言語に対応しています。



予 防 行 政

1 防火対象物の現況

令和6年4月1日現在

区 分			用 途 別	敷地単位 対象物数	棟 数	防火管理者 を必要とする 防火対象物
消 防 法 施 行 令 別 表 第 一 に よ る 防 火 対 象 物	1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	4	6	4
		ロ	公会堂又は集会場	31	35	31
	2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの			
		ロ	遊技場又はダンスホール	11	11	11
		ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの			
		ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	2	3	1
	3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	3	3	3
		ロ	飲食店	105	125	44
	4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	122	137	111
	5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	146	309	84
		ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	243	333	29
	6項	イ	病院、診療所又は助産所	74	111	41
		ロ	社会福祉施設等（要介護）	57	88	56
		ハ	上記以外の社会福祉施設等	149	196	96
		ニ	幼稚園又は特別支援学校	8	15	8
	7項		小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	63	188	57
	8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	16	21	14
	9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	1	2	1
		ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4	13	4
	10項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3	3	1
	11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	38	41	23
	12項	イ	工場又は作業場	174	362	9
		ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			
	13項	イ	自動車車庫又は駐車場	3	26	
		ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
	14項		倉庫	76	176	1
	15項		前各項に該当しない事業場	365	566	223
	16項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が1項から4項まで、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	249	216	168
		ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	127	115	25
	16の2		地下街			
	16の3		建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの			
	17項		文化財保護法によって指定、認定された建造物			
	18項		延長50メートル以上のアーケード	1	1	
	19項		市町村長の指定する山林			
	20項		自治省令で定める舟車			
	合 計			2,075	3,102	1,045

棟数については、消防法第17条の設置基準により区分

2 消防法及び火災予防条例等に基づく諸届出受理件数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

届 出 区 分	受 理 件 数
防火対象物定期点検結果報告書	23
防火対象物定期点検報告特例認定申請書	8
工事整備対象設備等着工届出書	85
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書	351
消防計画作成（変更）届出書	283
防火管理者選任（解任）届出書	199
危険物保安監督者選任・解任届出書	23
予防規程制定・変更認可申請書	59
裸火等使用承認申請書	4
指定水利変更・廃止・使用不能届出書	5
防火対象物使用開始届出書	75
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書	43
燃料電池発電設備・発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出書	40
火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書	503
煙火消費届出書	99
催物開催届出書	3
水道断・減水届出書	5
道路工事届出書	476
露店等の開設届出書	167
タンク水張（水圧）検査申出書	
合 計	2,451

3 甲種防火管理新規講習実施状況

年 度	講習月	受講者数	年 度	講習月	受講者数
平成 10年度	5月	163	平成 23年度	8月	112
11年度	5月	122	24年度	8月	88
12年度	5月	136	25年度	8月	120
13年度	5月	115	26年度	8月	102
14年度	5月	121	27年度	8月	111
15年度	5月	124	28年度	6月・8月	125
16年度	8月	169	29年度	6月・8月	115
17年度	8月	156	30年度	6月・8月	118
18年度	8月	143	令和 元年度	6月・9月	120
19年度	5月・11月	236	2年度	9月・11月・12月	79
20年度	8月	121	3年度	6月・11月	85
21年度	8月	126	4年度	7月・11月・2月	125
22年度	8月・2月	150	5年度	7月・11月・2月	80

4 甲種防火管理再講習実施状況

年 度	講習月	受講者数	年 度	講習月	受講者数
平成 26年度	5月	16	令和 元年度	5月	13
27年度	5月	10	2年度	5月	11
28年度	5月	24	3年度	7月	20
29年度	5月	21	4年度	11月	24
30年度	5月	19	5年度	11月	18

5 火薬類消費許可申請及び許可状況

年 度	申請件数	許可件数	年 度	申請件数	許可件数
平成 26年度	12	12	令和 元年度	26	26
27年度	11	11	2年度	4	4
28年度	13	13	3年度	15	15
29年度	23	23	4年度	17	15
30年度	24	24	5年度	20	20

6 中高層建築物現況数

令和6年4月1日現在

区 分	一 項 口	二 項 二	三 項		四 項	五 項		六 項			七 項	十 五 項	十 六 項		そ の 他	合 計
			イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ			イ	ロ		
4 階	1		1		4	6	68	6	3	1	4	17	13	7	3	134
5 階				1	1	7	14	4	2		1	2	8	5		45
6 階						6	2	2		1	1	2	2	1	1	18
7階以上						4	3	1				1	1			10
合 計	1		1	1	5	23	87	13	5	2	6	22	24	13	4	207
天 草 市	1			1	5	8	75	10	3	2	3	17	22	9	1	157
旧本渡市				1	5	7	42	8	1	1	2	12	18	8	1	106
旧牛深市	1						31	1			1	5	3	1		43
有 明 町													1			1
御所浦町																
倉 岳 町																
栖 本 町																
新 和 町							1									1
五 和 町								1	2	1						4
天 草 町						1	1									2
河 浦 町																
上 天 草 市						14	5	2	1		2	1	2	4	2	33
大矢野町						7	4	1			2		2	1		17
松 島 町						6	1							1	1	9
姫 戸 町																
龍ヶ岳町						1		1	1			1		2	1	7
天 草 郡 苓 北 町			1			1	7	1	1		1	4			1	17
合 計	1		1	1	5	23	87	13	5	2	6	22	24	13	4	207

7 防火対象物定期点検報告等の状況

令和6年4月1日現在

区 分		該当防火対象物		点検報告済防火対象物		特例認定済防火対象物	
		収容人員が300人以上のもの	特定一階段等防火対象物	収容人員が300人以上のもの	特定一階段等防火対象物	収容人員が300人以上のもの	特定一階段等防火対象物
1項	イ	3				2	
	ロ	12				12	
2項	イ						
	ロ	9				9	
	ハ						
	ニ						
3項	イ						
	ロ		1				1
4項		32		12		20	
5項	イ	8	3	2	1	6	1
6項	イ	6				6	
	ロ	1				1	
	ハ						
	ニ						
9項	イ	1					
16項	イ	16	1	5	1	11	
合 計		88	5	19	2	67	2

8 月別・市町別建築同意事務処理状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

市 町 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
天 草 市	2	4	2	5	4	1	5		3	3	3	1	33
旧本渡市	1	3	2	3	3	1	5		1	3	3	1	26
旧牛深市	1	1		1	1				2				6
有明町													
御所浦町													
倉岳町				1									1
栖本町													
新和町													
五和町													
天草町													
河浦町													
上天草市		1		2		2		1				1	7
大矢野町				2		1						1	4
松島町		1				1		1					3
龍ヶ岳町													
姫戸町													
天草郡苓北町									1				1
合 計	2	5	2	7	4	3	5	1	4	3	3	2	41

9 危険物製造所等の現況

令和6年4月1日現在

区 分		5倍以下	5～10	10～50	50～100	100～200	200倍超	合計
製 造 所					1			1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	16	11	6		1		34
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	15	12	47	7	4	5	90
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1	1				4
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	30	13	13		1		57
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1						1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	38		1				39
	屋 外 貯 蔵 所	9	3	2				14
	小 計	111	40	70	7	6	5	239
取 扱 所	給 油 取 扱 所	25	16	33	30	31	15	150
	一 般 取 扱 所	15	14	14			1	44
	販 売 取 扱 所	1	1	1				3
	移 送 取 扱 所							
	小 計	41	31	48	30	31	16	197
合 計		152	71	118	38	37	21	437

10 危険物規制事務取扱状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

区 分		設置許可	変更許可	水 圧 水張検査	完成検査	仮使用承認	種類数量 変更届	譲渡引渡	廃止届
製 造 所									
屋 内 貯 蔵 所									1
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所									3
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所									1
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所									
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所			1						1
屋 外 貯 蔵 所									
給 油 取 扱 所			9		9	6			4
一 般 取 扱 所			1	2	2	1	2		
販 売 取 扱 所	1 種								
	2 種								
移 送 取 扱 所									
合 計			11	2	11	7	2		10

1 1 幼少年女性防火クラブの結成状況

(1) 幼年消防クラブ

令和6年4月1日現在

市 町 名		ク ラ ブ 名 称	結成年月日	結成 単位
天 草 市	旧 本 渡 市	本渡ふたば保育園幼年消防クラブ	昭 和59年 9月 1日	園
		栢宇土保育園幼年消防クラブ	昭 和59年 9月 1日	〃
		天領保育園幼年消防クラブ	令 和 2年 6月10日	〃
		さくら保育園幼年消防クラブ	平 成 5年 3月11日	〃
		めぐみ保育園幼年消防クラブ	平 成 5年 5月 7日	〃
		東向寺保育園幼年消防クラブ	平 成 7年 5月19日	〃
		えんけいじ幼年消防クラブ	平 成16年 7月10日	〃
		ひがしまち保育園幼年消防クラブ	平 成17年 7月28日	〃
		おおやざきオレンジ幼年消防クラブ	平 成17年 9月12日	〃
	旧 牛 深 市	愛隣幼稚園幼年消防クラブ	平 成 9年 7月14日	〃
	有 明 町	浦和保育園幼年消防クラブ	平 成27年 5月13日	〃
		有明東保育園幼年消防クラブ	平 成30年 1月 1日	〃
		島子保育園幼年消防クラブ	平 成30年 1月 1日	〃
	御 所 浦 町	御所浦チビッコ消防クラブ	平 成 9年 7月16日	町
	倉 岳 町	苓陽幼稚園幼年消防クラブ	平 成 7年 4月19日	園
		倉岳保育園幼年消防クラブ	平 成11年11月11日	〃
	新 和 町	ひだまりの里幼年消防クラブ	平 成11年 6月 4日	〃
	天 草 町	もみじ保育園幼年消防クラブ	昭 和62年 9月 1日	〃
	河 浦 町	一町田保育園ちびっこ消防クラブ	平 成 9年 2月25日	〃
上 天 草 市	大 矢 野 町	あそか保育園幼年消防クラブ	平 成16年 7月 3日	園
	松 島 町	愛光園幼年消防クラブ	昭 和63年 6月10日	〃
		教良木保育園幼年消防クラブ	平 成 9年 7月 1日	〃
		今泉保育園ほとけの子消防隊	平 成 9年 7月 1日	〃
		松島保育園幼年消防クラブ	平 成10年 4月 1日	〃
	龍 ヶ 岳 町	龍ヶ岳保育園幼年消防クラブ	平 成31年 4月 1日	〃
	姫 戸 町	姫戸ひかり保育園幼年消防クラブ	平 成22年 4月 1日	〃
天 草 郡 北 町		宮原保育園幼年消防クラブ	平 成 2年11月 1日	〃
		坂瀬川保育園幼年消防クラブ	平 成 2年11月 1日	〃
		志岐保育園幼年消防クラブ	平 成 2年11月 1日	〃
		国照寺保育園幼年消防クラブ	平 成 2年11月 1日	〃
		富岡保育園幼年消防クラブ	平 成 2年11月 1日	〃
		都呂々保育園幼年消防クラブ	平 成 2年11月 1日	〃
合 計		32 団体		

(2) 少年消防クラブ

令和6年4月1日現在

市 町 名		ク ラ ブ 名 称	結成年月日	結成 単位
天 草 市	御 所 浦 町	御所浦小学校少年消防クラブ	平 成 17 年 5 月 19 日	学校
	新 和 町	新和小学校少年消防クラブ	平 成 13 年 6 月 7 日	〃
上 天 草 市	大 矢 野 町	登立小学校少年消防クラブ	昭 和 58 年 7 月 4 日	〃
		上小学校少年消防クラブ	平 成 元 年 7 月 8 日	〃
		中北小学校少年消防クラブ	平 成 元 年 7 月 8 日	〃
		中南小学校少年消防クラブ	平 成 元 年 7 月 8 日	〃
		維和小学校少年消防クラブ	平 成 2 年 6 月 29 日	〃
	松 島 町	阿村少年消防クラブ	昭 和 55 年 11 月 1 日	〃
	姫 戸 町	姫戸小学校少年消防クラブ	平 成 22 年 7 月 1 日	〃
合 計		9 団体		

(3) 女性防火クラブ

令和6年4月1日現在

市 町 名		ク ラ ブ 名 称	結成年月日	結成 単位
上天草市		天草女性防火防災クラブ	令 和 5 年 7 月 1 日	市
合 計		1 団体		

1 2 自主防災組織結成状況（民間自主防災）

令和6年4月1日

市 町 名		名 称	結成年月日	単位
		新規結成		
天 草 市	旧 本 渡 市	小松原町自主防災会	令 和 5 年 4 月 12 日	地区
	河 浦 町	主留区自主防災会	令 和 5 年 5 月 1 日	地区
	〃	松崎区自主防災会	令 和 5 年 4 月 15 日	地区
		小計 228 組織		
上天草市		小計 123 組織		
苓 北 町		小計 39 組織		
合 計		390 組織		

火 災 統 計

1 火災概要

令和5年1月1日～令和5年12月31日

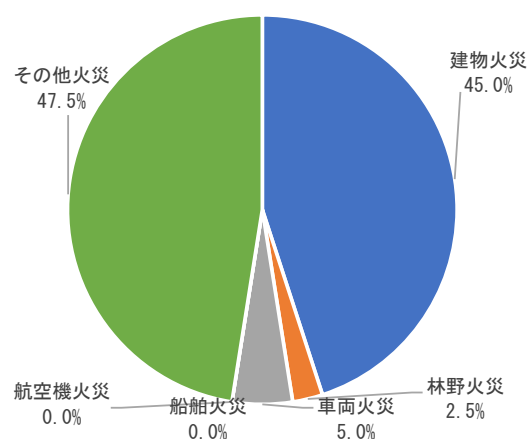
区 分		令和5年 (A)	令和4年 (B)	増 減 (A - B)
出 火 件 数 (件)		40	53	△ 13
火 災 種 別	建 物	18	27	△ 9
	林 野	1	3	△ 2
	車 両	2	3	△ 1
	船 舶		2	△ 2
	航 空 機			0
	そ の 他	19	18	1
焼 損 棟 数 (棟)		30	50	△ 20
焼 損 程 度	全 焼	9	24	△ 15
	半 焼	2	4	△ 2
	部 分 焼	6	11	△ 5
	ぼ や	13	11	2
建物焼損面積 (㎡)		1,457	4,500	△ 3,043
林野焼損面積 (a)		14.0	23.0	△ 9.0
死 者 (人)		1	3	△ 2
(放火自殺者)		(0)	(0)	(0)
負 傷 者 (人)		6	24	△ 18
り災世帯 (世帯)		15	23	△ 8
り 災 状 況	全 損	7	11	△ 4
	半 損	1	2	△ 1
	小 損	7	10	△ 3
り災人員 (人)		31	55	9
損 害 額 (千 円)		28,904	123,953	△ 95,049
損 害 種 別	建 物	27,363	119,616	△ 92,253
	林 野		138	△ 138
	車 両	394	1,696	△ 1,302
	船 舶		337	△ 337
	航 空 機			0
	そ の 他	1,147	2,166	△ 1,019

2 火災種別出火件数の構成比率

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	令和5年	令和4年
建 物 火 災	45.0%	51.0%
林 野 火 災	2.5%	6.0%
車 両 火 災	5.0%	6.0%
船 舶 火 災	0.0%	4.0%
航空機火災	0.0%	0.0%
その他火災	47.5%	33.0%
合 計	100%	100%

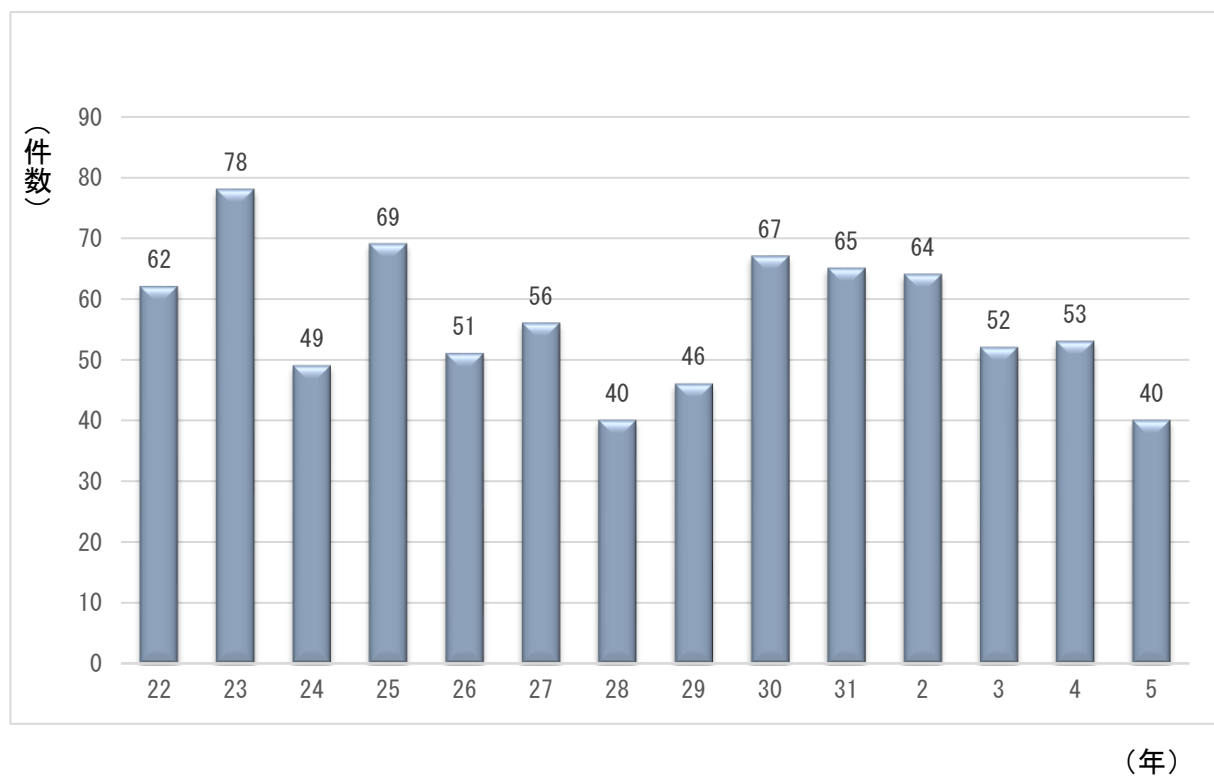
令和5年中の火災件数構成比



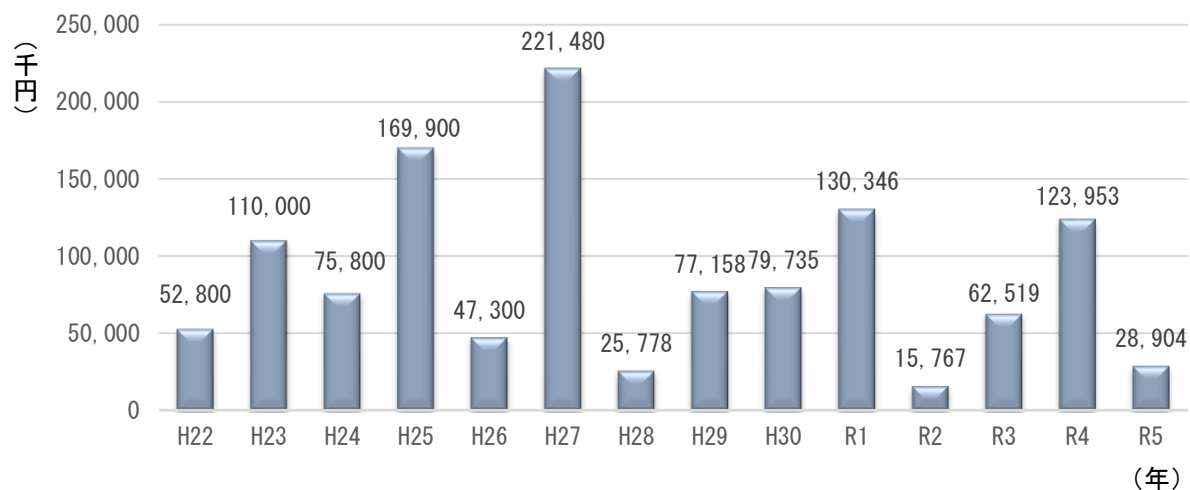
3 1日当たり及び1件当たりの火災状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日			
区分		令和5年	令和4年
全火災1日当たり	出火件数(件)	0.11	0.15
	損害額(千円)	79	340
	建物焼損面積(㎡)	3.99	12.33
全火災1件当たり	損害額(千円)	723	2,339
建物火災1件当たり	建物焼損面積(㎡)	80.9	166.7
	焼損棟数(棟)	1.00	1.00
	罹災世帯数(世帯)	0.80	0.90
	罹災人員(人)	1.72	2.04
林野火災1件当たり	損害額(千円)		46
	林野焼損面積(a)	14	8

4 火災発生件数の推移



5 火災損害額の推移



6 令和5年中の主な火災

令和5年1月1日～令和5年12月31日

火災種別	出火日時	出火場所	焼損棟数	焼損面積 (m ² ・a)	罹災世帯数	罹災人員	死者	負傷者	損害額 (千円)	出火原因
建物	2月13日 6時41分	天草市天草町 高浜北	2	51	2	2	1		919	電灯・電話等の配線

※損害額10,000千円以上又は死者が発生した火災

7 月別火災発生状況

区分	火災件数							焼損面積		損害額(千円)						
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物(m ²)	林野(a)	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1月	5	3					2	29		2,699	2,670					29
2月	1	1						51		919	917					2
3月	6	3					3	95	3	1,789	1,789					
4月	3	1		1			1			140	140					
5月	3		1				2		8							
6月	1	1						386	1	3,960	3,504					456
7月	1	1						63		6,249	6,249					
8月	2						2									
9月	4	2					2	123	1	3,086	2,885		98			103
10月	7	1					6	137	1	1,755	1,573		82			100
11月	3	2					1	435		4,988	4,414		117			457
12月	4	3		1				138		3,319	3,222		97			
合計	40	18	1	2			19	1,457	14	28,904	27,363		394			1,147

令和5年1月1日～令和5年12月31日

焼損棟数									り災世帯数				り災人員	死 者	負傷者
合 計	火 元				類 焼				計	全 損	半 損	小 損			
	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や							
3			1	2					1			1	4		
2	1							1	2	1		1	2	1	
4	1			2			1		1	1			1		2
1			1												1
2	1				1				1	1			2		
1			1												
5	1	1						3	2	1		1	4		2
2	1							1	1	1			3		
4	2						1	1	2	1		1	4		1
6	1			2		1	1	1	5	1	1	3	11		
30	8	1	3	6	1	1	3	7	15	7	1	7	31	1	6

8 市町別火災発生状況

区 分	火災件数							焼損面積		損害額(千円)			
	合 計	建 物	船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	建 物 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両
天 草 市	26	13			2		11	1,151	5	20,016	18,504		394
旧 本 渡 市	8	3			2		3	103		2,917	2,678		137
旧 牛 深 市	5	1					4	95	3	1,755	1,754		
有 明 町	4	2					2	166		5,842	5,783		58
御 所 浦 町													
倉 岳 町													
栖 本 町	3	1					2	386	1	3,960	3,504		
新 和 町	3	3						329	1	4,309	3,554		199
五 和 町													
天 草 町	1	1						51		919	917		
河 浦 町	2	2						21		314	314		
上 天 草 市	14	5				1	8	306	9	8,888	8,859		
大 矢 野 町	12	3				1	8	243	9	2,637	2,608		
松 島 町	1	1								2	2		
姫 戸 町													
龍ヶ岳町	1	1						63		6,249	6,249		
天草郡苓北町													
合 計	40	18			2	1	19	1,457	14	28,904	27,363		394

令和5年1月1日～令和5年12月31日

			焼損棟数									り災世帯数				り災人員	死 者	負傷者
船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計	火 元				類 焼				計	全 損	半 損	小 損			
				全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や							
		1,118	25	7	1	1	4	1	1	3	7	14	7	1	6	27	1	5
		102	6	1			2				3	3	1		2	7		1
		1	2	1						1		1	1			1		2
		1	5	1		1			1	1	1	3	1	1	1	6		1
		456	2	1				1				1	1			2		
		556	6	2			1			1	2	3	2		1	7		
		2	2	1							1	2	1		1	2	1	
			2		1		1					1			1	2		1
		29	5	1		2	2					1			1	4		1
		29	3	1		1	1											1
			1				1					1			1	4		
			1			1												
		1147	30	8	1	3	6	1	1	3	7	15	7	1	7	31	1	6

9 出火原因別火災発生状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他
た ば こ	4	4					
こ ん ろ							
か ま ど							
風呂かまど	2	2					
炉							
焼 却 炉	1						1
ス ト ー ブ							
こ た つ							
ボ イ ラ ー							
煙突・煙道	2	2					
排 気 管	1			1			
電 気 機 器							
電 気 装 置	1	1					
電灯・電話等の配線	2	2					
内 燃 機 関							
配 線 器 具	2	2					
火 あ そ び							
マッチ・ライター							
た き 火	17		1				16
溶接機・切断機							
灯 火							
衝突の火花							
取 灰							
火 入 れ							
放 火	4	2					2
放火の疑い							
そ の 他	2	2					
不明・調査中	2	1		1			
合 計	40	18	1	2			19

救 急 業 務

1 救急概要

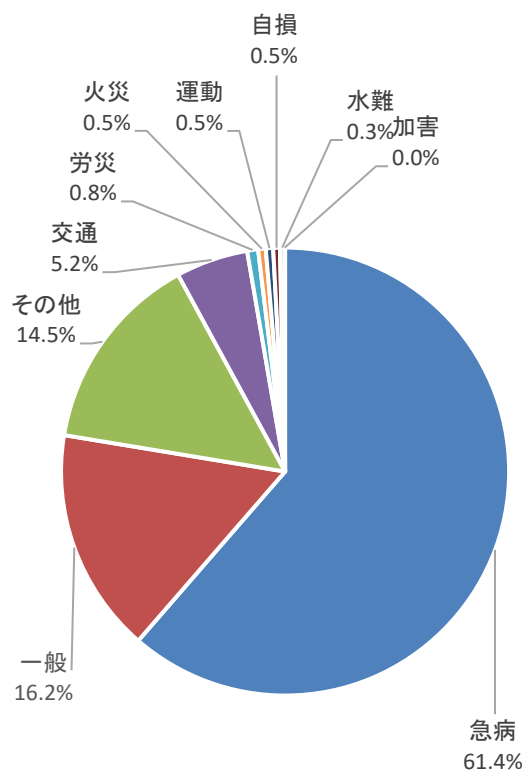
令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				一日 平均	合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 輸 送	そ の 他		
出場件数	35		21	344	52	36	1,071	3	32	4,051	864	1		90	18	6,600
搬送人員	男	2		7	167	45	20	425	2	7	1,869	400			8	2,944
	女	2		3	113	4	12	546	1	12	1,681	433		1	8	2,808
	合計	4		10	280	49	32	971	3	19	3,550	833		1	16	5,752
不搬送	3		9	55	3	3	94		12	487	25			28		719

2 事故種別の順位

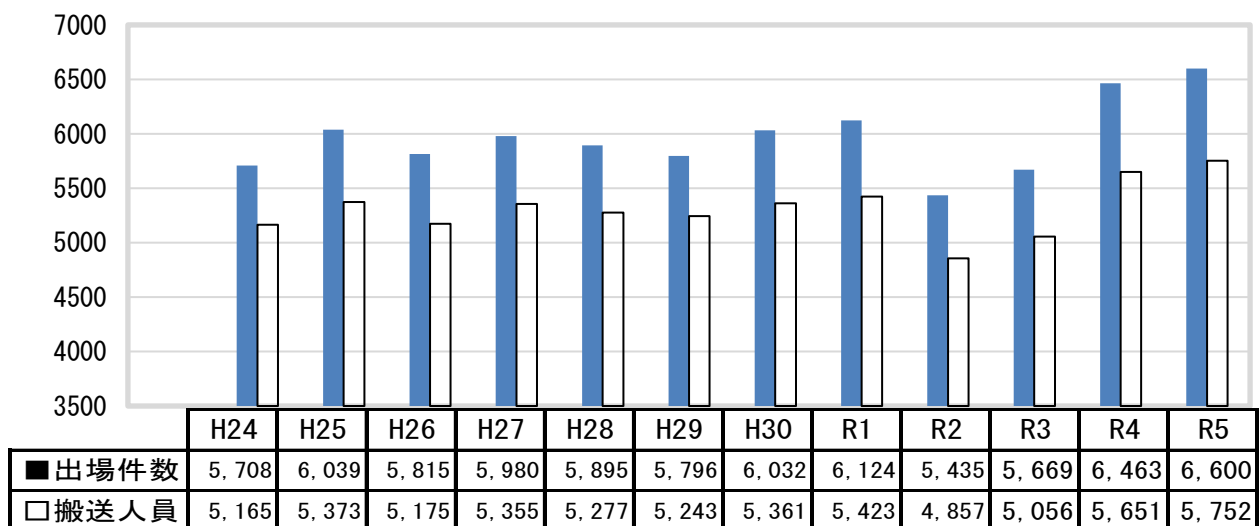
令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分		出場件数		搬送人員	
順位	種 別	件数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1	急 病	4,051	61.4	3,550	61.7
2	一般負傷	1,071	16.2	971	16.9
3	そ の 他	955	14.5	834	14.5
4	交通事故	344	5.2	280	4.9
5	労働災害	52	0.8	49	0.9
6	運動競技	36	0.5	32	0.6
7	火 災	35	0.5	4	0.1
8	自損行為	32	0.5	19	0.3
9	水 難	21	0.3	10	0.2
10	加 害	3	0.0	3	0.1
11	自然災害				
合 計		6,600	100	5,752	100



令和5年中の救急件数構成比

3 救急需要の推移



4 ヘリコプターによる搬送件数の推移

年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数	29 (52)	29 (51)	39 (60)	24 (63)	41 (43)	37 (26)	17 (34)	19 (50)	23 (55)	13 (46)	28 (87)	15 (63)

() 書きはドクターヘリ件数

5 事故種別・年齢区分別救急搬送状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
火 災				2	2	4
自然災害						
水 難			1	1	8	10
交 通		3	24	114	139	280
労働災害				32	17	49
運動競技			23	9		32
一般負傷		24	15	122	810	971
加 害				1	2	3
自損行為			2	10	7	19
急 病	1	95	62	628	2,764	3,550
転院搬送	2	13	4	121	693	833
医師搬送						
資器材搬送						
そ の 他				1		1
合 計	3	135	131	1,041	4,442	5,752
比率 (%)	0.1	2.3	2.3	18.1	77.2	100.0

備考

「新生児」・・・生後28日未満の者

「乳幼児」・・・生後28日以上満7歳未満の者

「少 年」・・・満7歳以上満18歳未満の者

「成 人」・・・満18歳以上満65歳未満の者

「高齢者」・・・満65歳以上の者

6 時間別救急出場件数及び搬送人員

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分		事 故 種 別											合 計
		火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	
0～2	出場件数				9			37		3	164	20	233
	搬送人員				7			31		3	131	12	184
3～4	出場件数	1			2			18		1	131	15	168
	搬送人員				2			16		1	116	10	145
4～6	出場件数	2		1	4			36			174	10	227
	搬送人員			1	4			31			153	5	194
6～8	出場件数	1		1	31			81		7	353	25	499
	搬送人員			1	25			75		5	302	16	424
8～10	出場件数			2	50	15		174		2	554	139	936
	搬送人員				41	15		161		1	495	127	840
10～12	出場件数	9		3	49	9	12	133		2	476	211	904
	搬送人員	2			42	7	9	126		1	418	196	801
12～14	出場件数	2		1	49	7	7	145	1	5	451	176	844
	搬送人員				37	7	7	126	1	2	393	156	729
14～16	出場件数	9		6	38	12	9	112		3	391	126	706
	搬送人員			4	32	11	8	103		3	344	106	611
16～18	出場件数	3		2	72	6	4	113		4	407	115	726
	搬送人員			1	58	6	4	99		2	367	106	643
18～20	出場件数	7		1	26	1	2	119	2	4	390	56	608
	搬送人員	1			19	1	2	109	2		348	50	532
20～22	出場件数	1		1	10	1	2	58		1	315	33	422
	搬送人員	1		1	11	1	2	53		1	270	29	369
22～24	出場件数			3	4	1		45			245	29	327
	搬送人員			2	2	1		41			213	21	280
合 計	出場件数	35		21	344	52	36	1,071	3	32	4,051	955	6,600
	搬送人員	4		10	280	49	32	971	3	19	3,550	834	5,752

7 曜日別月別救急出場件数

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 搬 送	そ の 他	
曜日別	日	6		3	59	5	10	171		6	637	56			14	967
	月	5		2	43	6	6	163	1	3	626	172			11	1,038
	火	5		2	40	9	3	134	1	5	586	134			16	935
	水	3		5	46	8	3	148		7	544	145			8	917
	木	7		4	49	8	7	127		1	542	131	1		14	891
	金	2		4	67	9	2	162	1	6	557	133			16	959
	土	7		1	40	7	5	166		4	559	93			11	893
合 計		35		21	344	52	36	1,071	3	32	4,051	864	1		90	6,600
月別	1月	4		1	18	1	1	105	1	2	404	104			6	647
	2月	1		1	16	4	2	74		3	307	60			8	476
	3月	6		3	30	6	3	88	1	2	300	70			6	515
	4月	2		4	36	5		67		2	271	57			6	450
	5月	3			20	5	2	92		1	286	64			7	480
	6月	1		1	29	3	9	82		6	315	64			4	514
	7月	1			33	6	5	81	1	5	412	80			12	636
	8月	2		2	25	9	3	81		3	415	65			13	618
	9月	4		3	28	3	3	91		2	341	67			7	549
	10月	6		1	33	6	4	105		3	341	71	1		7	578
	11月	3		3	37	3	2	94		2	293	84			10	531
	12月	2		2	39	1	2	111		1	366	78			4	606
合 計		35		21	344	52	36	1,071	3	32	4,051	864	1		90	6,600

8 現場到着所要時間別出場件数

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計
急 病	59	247	1,773	1,727	245	4,051
交 通	4	10	127	165	38	344
一 般 負 傷	13	62	450	476	70	1,071
そ の 他	13	181	557	317	66	1,134
合 計	89	500	2,907	2,685	419	6,600
比 率 (%)	1.3	7.6	44.0	40.7	6.3	100.0
全国比率 (%)	0.6	2.8	50.7	41.2	4.8	100.0
県 比 率 (%)	0.7	3.1	55.2	37.9	3.2	100.0
平均時間 (分)	天草		全国		熊本県	
	10.5		10.3		9.7	

※ 全国・県データ～総省消防庁 令和5年版救急救助の現況から

9 収容所要時間別搬送人員

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	救急覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間						
	10分未満	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分以上	合計
急 病		71	426	2,219	815	19	3,550
交 通		5	32	168	70	5	280
一 般 負 傷		10	109	613	229	10	971
そ の 他		7	101	532	222	89	951
合 計		93	668	3,532	1,336	123	5,752
比 率 (%)		1.6	11.6	61.4	23.2	2.1	100.0
全国比率 (%)		1.2	15.7	63.7	17.6	1.7	99.9
県 比 率 (%)		1.3	19.1	66.4	12.6	0.6	100.0
平均時間 (分)	天草			全国		熊本県	
	52.2			47.2		39.7	

10 傷病程度別搬送人員

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	死亡		重症		中等症		軽症		その他		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
火 災					2	1		1			2	2	4
自 然 災 害													
水 難	1	1			4	2	2				7	3	10
交 通	3	1	16	5	54	48	94	59			167	113	280
労 働 災 害			10		18	1	17	3			45	4	49
運 動 競 技					6	6	14	6			20	12	32
一 般 負 傷	10	6	46	66	173	296	195	178	1		425	546	971
加 害					1	1	1				2	1	3
自 損 行 為	1	1	3	7	2	1	1	3			7	12	19
急 病	40	41	202	208	929	749	696	680	2	3	1,869	1,681	3,550
転 院 搬 送	1	1	80	95	280	304	37	32	2	1	400	433	833
医 師 搬 送													
資 器 材 搬 送													
そ の 他								1				1	1
合 計	56	51	357	381	1,469	1,409	1,057	963	5	4	2,944	2,808	5,752
	107		738		2,878		2,020		9		5,752		
比率（％）	1.9		12.8		50.0		35.1		0.2		100.0		

備 考

- 「死 亡」・・・初診時において死亡が確認されたもの
「重 症」・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの
「中等症」・・・重症又は軽症以外のもの
「軽 症」・・・入院加療を必要としないもの

11 医療機関別搬送人員

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分	救急告示		その他の機関		接骨院等		その他		合計	
	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外
急 病	2,900	440	200	5				5	3,100	450
交 通	240	34	6						246	34
一 般 負 傷	813	114	40	3				1	853	118
そ の 他	761	177	9	1				3	770	181
合 計	4,714	765	255	9				9	4,969	783

1 2 事故種別・理由別不搬送状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	辞退 (到着前)	辞退 (到着後)	拒否	明らかな死亡	他車 (隊) 搬送	傷病者なし	誤報	いたずら	その他	合 計
火 災		2		1	1	27				31
自 然 災 害										
水 難		5		3	3					11
交 通	4	31	3		36	13	1		2	90
労働災害		1			2					3
運動競技	1				1				2	4
一般負傷	4	31	3	4	47	1			10	100
加 害										
自損行為				13						13
急 病	11	179	16	89	171				41	507
転院搬送		3			27				1	31
医師搬送									1	1
資器材搬送										
そ の 他	1	2		4		9	64	1	8	89
合 計	21	254	22	114	288	50	65	1	65	880

1 3 市町別医療機関数

令和6年4月1日現在

区分	病 院			診療所			合 計			
	国公立	公的	私的	国公立	公的	私的	国公立	公的	私的	合計
天 草 市	5		9	2		56	7		65	72
旧本渡市	1		5			36	1		41	42
旧牛深市	1		2			6	1		8	9
有明町			1			2			3	3
御所浦町				2		1	2		1	3
倉岳町						2			2	2
栖本町	1					1	1		1	2
新和町	1						1			1
五和町			1			4			5	5
天草町						1			1	1
河浦町	1					3	1		3	4
上天草市	1			2		16	3		16	19
大矢野町				1		11	1		11	12
松島町				1		2	1		2	3
姫戸町						3			3	3
龍ヶ岳町	1						1			1
天草郡苓北町			3			2			5	5
合 計	6		12	4		74	10		86	96

14 救急隊員の行った処置

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	10	29	90	18	147
固 定	15	232	152	47	446
人 工 呼 吸	5		1	2	8
酸 素 吸 入	866	40	94	339	1,339
保 温	9	10	5	6	30
被 覆	15	47	160	19	241
胸 骨 圧 迫	1			1	2
心 肺 蘇 生 法	115	6	23	7	151
（自動式心マッサージ器）	5				5
在 宅 療 法	117		7	18	142
血 圧 測 定	3,789	374	1,013	969	6,145
心 音 ・ 呼 吸 音 聴 取	413	36	70	57	576
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	3,820	374	1,022	974	6,190
血 糖 測 定	104	1	2	2	109
心 電 図 測 定	3,008	136	444	652	4,240
気 道 確 保	138	6	27	15	186
（経鼻エアウェイ）					
（喉頭鏡・鉗子等）			7	1	8
（ラリngeアルマスク等）	52	1	12	2	67
（気管挿管チューブ）	9		5	1	15
除 細 動 器	14		1	1	16
静 脈 路 確 保	49	4	14	2	69
薬 剤 投 与	34		12	1	47
エ ピ ペ ン 投 与					
ブ ド ウ 糖 投 与	10				10
そ の 他	3,785	365	1,015	969	6,134
合 計	16,383	1,661	4,176	4,103	26,323

（ ）は器具を使用したものの内訳

15 市町別救急発生状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	発生 件数	搬 送 人員
天 草 市	24		10	244	33	26	708	2	23	2,573	637	4,290	3,879
旧本渡市	7			117	12	16	284		9	1,066	287	1,808	1,638
旧牛深市	6		6	22	8		131	2	4	364	135	678	621
有明町	4			21	1		45		2	191	19	283	257
御所浦町			1	4	2	3	46			185	28	269	255
倉岳町			1	6		6	31		1	121	8	174	145
栖本町	3		1	8		1	17		2	54	20	106	89
新和町	2			4	3		23			102	58	192	179
五和町				29	1		60		1	215	26	332	291
天草町	1		1	8	3		36		3	148	5	205	178
河浦町	1			25	3		35		1	127	51	243	226
上天草市	11		7	79	16	6	253	1	7	1,137	184	1,701	1,532
大矢野町	10		2	41	7	3	132	1	4	595	58	853	742
松島町				22	5	2	66		2	305	19	421	377
姫戸町				11	1		31			125	7	175	170
龍ヶ岳町	1		5	5	3	1	24		1	112	100	252	243
天草郡苓北町			2	16	1	3	65		2	182	101	372	336
管 轄 外			1				3			2		6	5
合 計	35		20	339	50	35	1,029	3	32	3,894	922	6,369	5,752
管内中継			1	5	2	1	42			157	23	231	
救急件数	35		21	344	52	36	1,071	3	32	4,051	945	6,600	

16 住民に対する応急手当普及啓発指導状況

令和6年4月1日現在

区 分	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		上級救命講習		普及員講習		その他の講習		合 計	
	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数
平成25年以前	39,055	1,824	677	60	374	10	83,358	2,292	123,464	4,186
26年	2,886	105	15	2	24	2	5,655	189	8,580	298
27年	2,959	95	14	3	34	2	6,227	201	9,234	301
28年	3,447	107	14	2	18	2	4,781	167	8,260	278
29年	3,512	107	11	3	27	1	6,955	197	10,505	308
30年	3,143	125	12	2			6,123	164	9,278	291
令和元年	2,574	88	17	3	38	2	4,401	182	7,030	275
2年	183	6					1,543	76	1,726	82
3年	669	32					1,036	59	1,705	91
4年	980	46	5	2			1,463	75	2,448	123
5年	1,484	80	2	1	1	1	4,546	182	6,033	264
合 計	60,892	2,615	767	78	516	20	126,088	3,784	188,263	6,497

17 応急手当指導員講習修了者状況

令和6年4月1日現在

区 分	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	合 計
平成25年度以前	236			236
26年度	6			6
27年度	6			6
28年度	8			8
29年度	6			6
30年度	8			8
31年度	6			6
令和2年度	7			7
3年度	9			9
4年度	6			6
5年度	6			6
合 計	304	0	0	304

講習Ⅰ：救急救命士、救急隊員または消防機関在職中に救急隊員の資格を有していた者で、8時間の講習を修了した者（退職者も含む）

講習Ⅱ：上記以外の消防職員（応急手当の普及業務に関し、消防職員と同等以上の知識及び技能を有すると消防長が認める消防団員を含む）または消防職員であった者で、24時間の講習を修了した者

講習Ⅲ：応急手当普及員の資格を有するもので、16時間の講習を修了した者

18 救急救命士資格取得状況

令和6年4月1日現在

年 度	取得数(人)			年 度	取得数(人)		
	取得	内入署時 既取得	退職		取得	内入署時 既取得	退職
平成12年度以前	14	(2)		24年度	6	(4)	
13年度	1			25年度	5	(3)	△ 1
14年度	5	(3)		26年度	5	(3)	
15年度	2			27年度	6	(4)	△ 1
16年度	2			28年度	4	(3)	△ 1
17年度	2			29年度	6	(3)	△ 2
18年度	1			30年度	4	(2)	
19年度	4	(2)		31(令和元)年度	2		
20年度	5	(3)		2年度	3	(1)	
21年度	3	(1)		3年度	5	(3)	△ 3
22年度	5	(3)		4年度	1		△ 4
23年度	3	(1)		5年度	3	(1)	△ 1
小 計	47	(15)	0	合 計	97	(42)	△ 13
				現 数	84		

19 救急救命士気管挿管・薬剤投与認定取得状況

令和6年4月1日現在

年 度	気管挿管資格取得数(人)		薬剤投与資格取得数(人)	
		退職		退職
平成24年度以前	20		44	
25年度	2	△ 1	6	
26年度	2		2	
27年度	2		6	
28年度	2	△ 1	1	
29年度	2	△ 1	9	△ 1
30年度	2		5	
31(令和元)年度	2		6	
2年度	0		2	
3年度	2	△ 2	4	△ 3
4年度	2	△ 1	3	△ 4
5年度	1	△ 1	4	△ 1
合 計	39	△ 7	92	△ 9
現 数	32		83	

救 助 業 務

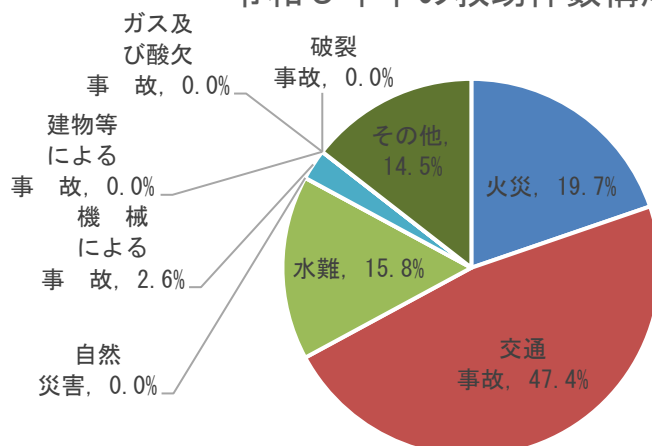
1 救助業務活動状況の推移

区分	火災	交通事故	水難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
平成 28 年	9	24	6	1	1		1		10	52
	(0)	(18)	(6)	(1)	(0)		(1)		(8)	(34)
平成 29 年	18	29	14		1		1		10	73
	(1)	(33)	(9)		(1)		(0)		(9)	(53)
平成 30 年	11	20	15		2				9	57
	(1)	(17)	(12)		(1)				(9)	(40)
令和 元年	20	23	11		2		1		13	70
	(1)	(20)	(6)		(1)		(1)		(11)	(40)
令和 2 年	16	20	15	5	2				11	69
	(1)	(25)	(11)	(2)	(1)				(7)	(47)
令和 3 年	24	23	12	1	1		1		14	76
		(20)	(8)	(1)	(1)				(9)	(39)
令和 4 年	27	49	11						14	101
	(2)	(39)	(13)						(10)	(64)
令和 5 年	15	36	12		2				11	76
	(2)	(26)	(7)		(2)				(10)	(47)

() 内は救助者数

令和5年1月1日～令和5年12月31日

令和 5 年中の救助件数構成比



2 事故種別出場状況等

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区 分		火災	交通事故	水難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
出動件数		15	36	12		2				11	76
出動人員	救助隊員	28	76	25		5				21	155
	消防隊員	125	149	44		9				26	353
	救急隊員	43	148	38		6				32	267
	合 計	196	373	107		20				79	775
活動件数		15	21	7		2				10	55
活動人員	救助隊員	4	22	5		5				15	51
	消防隊員	64	60	14		6				20	164
	救急隊員	4	59	12		6				29	110
	合 計	72	141	31		17				64	325
救助人員		2	26	7		2				10	47

令和 5 年版 消防年報

令和 6 年 7 月発行

発行 天草広域連合消防本部

〒863-0001

熊本県天草市本渡町広瀬 1687 番地 2

TEL 0969-22-0119

FAX 0969-22-3221

Mail amasho-119@amakusa-kouikirengo.or.jp

編集 天草広域連合消防本部総務課

<http://amakusa-kouikirengo.or.jp/>

[公式] Instagram amakusa119
